

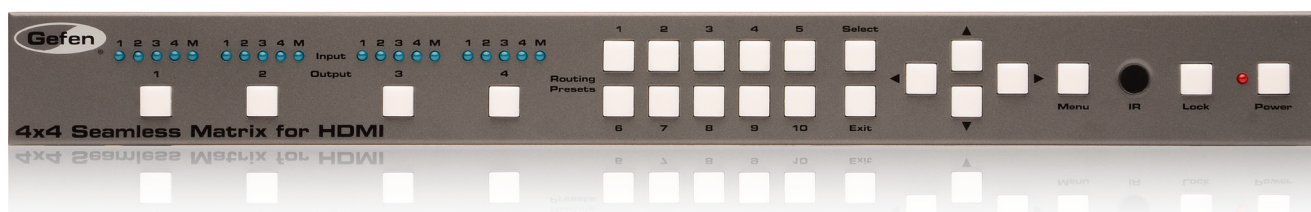


4x4 Seamless Matrix for HDMI

HDMI シームレス・マトリクス切替機

型番 : EXT-HD-SL-444

取扱説明書



◆はじめに

■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・ 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・ AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・ 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・ 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・ 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・ 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・ 以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・ 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・ 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■製品の特長

- ・ 4 系統の入力をスケーリングして、4 系統の表示機器へ出力。
- ・ 遅延やフレームロスがなく、シームレスに切り替え可能なシームレスマトリクス切替機。
- ・ 入出力の解像度は最大 1080p フル HD、1920x1200(WUXGA) をサポート。
- ・ HDCP に準拠。
- ・ 前面パネルに 10 個のカスタムユーザープリセットスイッチを装備。
- ・ 前面パネルスイッチ、IR、IP(ウェブサーバーインターフェース、Telnet と UDP)、RS-232 経由で操作可能。
- ・ 使い易いオンスクリーンメニューとウェブサーバーインターフェース。
- ・ IR リモコンを付属、IR 延長受光部用の入力を装備。
- ・ ファームウェアはウェブサーバーインターフェースまたは USB 経由でフィールドアップグレード可能。
- ・ ロック式電源端子。
- ・ ラックマウント可能、1U サイズ。

■梱包内容の確認

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

- ・ 本体× 1
- ・ ロック式 HDMI ケーブル (1.8m) × 4
- ・ D-Sub9 ピンケーブル (1.8m) × 1
- ・ 電源アダプター× 1
- ・ IR 延長モジュール× 1
- ・ IR リモコン× 1
- ・ ラックマウント金具× 1

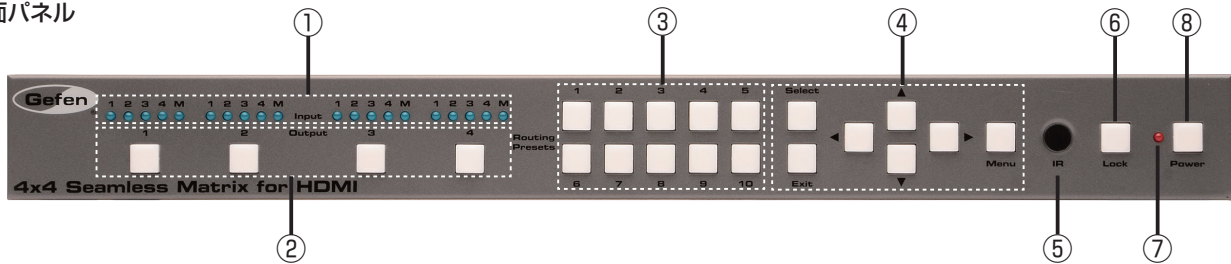
目次

◆はじめに	2	▼HTTP Port		●#show_ipmode	
■安全上の注意		▼Restore Defaults		●#show_mac_addr	
■製品の特長		●Telnet設定の変更		●#show_netmask	
■梱包内容の確認		▼Telnet Access		●#show_output	
■目次	3	▼Require Password		●#show_power	
◆各部の名称と機能	4	▼Terminal Port		●#show_preset_name	
■本体		●UDP設定の変更	22	●#show_saturation	
●前面パネル		▼UDP Access		●#show_telnet_port	
●背面パネル		▼UDP Port		●#show_udp_port.....	31
■IRリモコン	5	▼Byte		●#show_udp_remote_ip	
●前面		▼Remote UDP Port		●#show_udp_remote_port	
●背面		●システム設定.....	23	●#show_ver_data	
●電池交換.....	6	◆高度な操作	24	●#unmask	
●チャンネル設定		■RS-232とIPの構成		●#use_tcp_access	
■接続方法		●RS-232 インターフェース		●#use_telnet_pass	
◆操作方法	7	●RS-232の設定		●#use_udp_access	
■はじめに		●IP/UDPの構成		●m	
●スタンバイモード		■コマンド	25	●r	
●本体の電源をONにする		●#display_telnet_welcome	26	●s	
■ルーティングの基本		●#fadefault		■ウェブインターフェース	32
●ルーティングステータスの確認		●#help		●内蔵ウェブインターフェースの使用	
●入力から出力へのルーティング	8	●#hdp_pulse		●Main⇒Routing	
▼前面パネルスイッチによる設定		●#lock_edid		●Main⇒I/O Status.....	34
▼IRリモコンによる設定		●#lock_matrix		●Main⇒Display Info	35
●出力のマスキング/マスキング解除	9	●#mask		●I/O Setup⇒Preset Names	36
▼前面パネルスイッチを使用する設定		●#mute		●I/O Setup⇒I/O Names	
▼IRリモコンを使用する設定		●#power		●I/O Setup⇒HPD Control.....	37
●プリセットの保存	10	●#reboot		●I/O Setup⇒HDCP	
●プリセットの呼出		●#recall_preset.....	27	●I/O Setup⇒Video.....	38
▼前面パネルスイッチを使用する設定		●#save_preset		●Manage EDID⇒Assign	
▼IRリモコンを使用する設定		●#set_bank_name		●Manage EDID⇒Bank Name.....	40
■本体のロック/ロック解除	11	●set_brightness		●Manage EDID⇒Upload/Download	
▼前面パネルスイッチによる設定		●#set_contrast		●ネットワーク	41
▼IRリモコンによる設定		●#set_edid		●システム.....	42
■IR延長機の使用	12	●#set_gateway		◆付録	43
■メニューシステム	13	●#set_hdcp		■ファームウェアのアップグレード	
●メニューシステムへのアクセス		●#set_http_port.....	28	●ウェブインターフェースによる	
▼前面パネルスイッチによる設定	14	●#set_hue		アップグレード方法	
▼IRリモコンによる設定		●#set_input_name		●USBインターフェースによる	
●出力解像度の設定	15	●#set_ipadd		アップグレード方法	
●コントラストの調整		●#set_ipmode		■仕様	
●輝度(ブライトネス)の調整.....	16	●#set_ipmode			
●サチュレーションの調整	17	●#set_netmask			
●色合いの調整		●#set_output			
●OSDの設定	18	●#set_output_name			
▼POSITION		●#set_preset_name			
▼H Offset		●#set_saturation	29		
▼V Offset		●#set_telnet_pass			
▼Menu Timeout		●#set_telnet_port			
▼Info Timeout		●#set_udp_port			
▼Info Display		●#set_udp_remote_ip			
▼Brief Info		●#set_udp_remote_port			
●HDCP.....	19	●#set_webui_ad_pass			
●EDIDマネージメント	20	●#set_webui_op_pass			
▼EDIDの選択		●#show_bank_name			
●IP設定の変更	21	●#show_brightness			
▼IP Mode		●#show_contrast			
▼Type Select		●#show_gateway			
▼Byte		●#show_hdcp	30		
▼Re-link		●#show_http_port			
▼Timeout		●#show_hue			
		●#show_ip			
		●#show_ipconfig			

◆各部の名称と機能

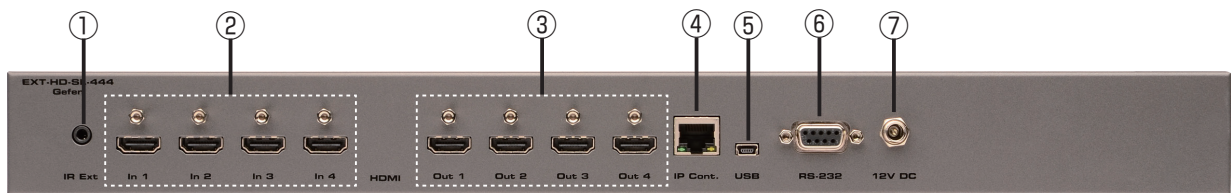
■本体

●前面パネル



① Input : 入力インジケータ	各入力ステータスを表示します。詳しくは 7 ページ「◆操作方法」を参照してください。
② Output : 出力選択スイッチ (1 ~ 4)	出力を選択します。詳しくは 7 ページ「◆操作方法」を参照してください。
③ Routing Presets : プリセットスイッチ (1 ~ 10)	プリセットを選択します。詳しくは 7 ページ「◆操作方法」を参照してください。
④メニューシステム操作スイッチ	内蔵メニューシステムの設定を選択 / 変更します。詳しくは 13 ページ「■メニューシステム」を参照してください。
⑤ IR	付属の IR リモコンからの IR 信号を受信します。
⑥ Lock : ロックスイッチ	本体をロックします。詳しくは 11 ページ「■本体のロック / ロック解除」を参照してください。
⑦スタンバイ LED インジケータ	電源アダプターを接続して、本体の電源がオフの時に点灯します。
⑧ Power : 電源	本体の電源を ON/OFF します。電源 ON の時、赤い LED が点灯します。

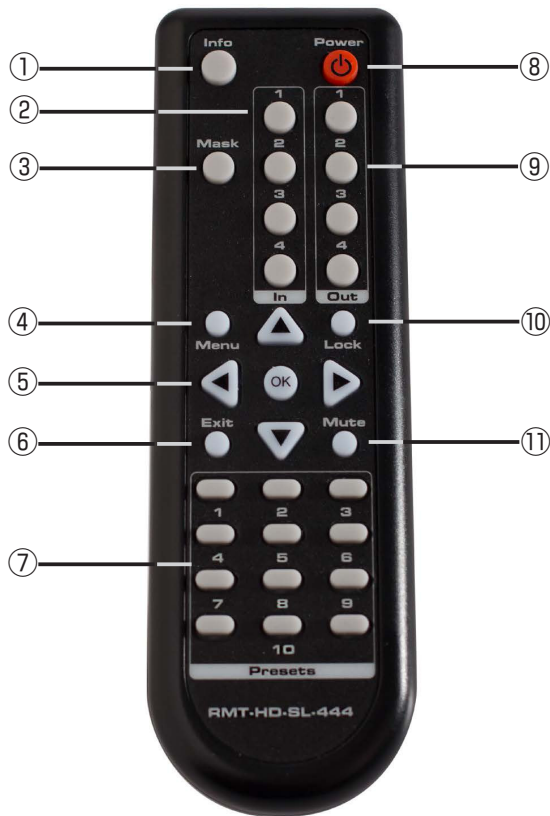
●背面パネル



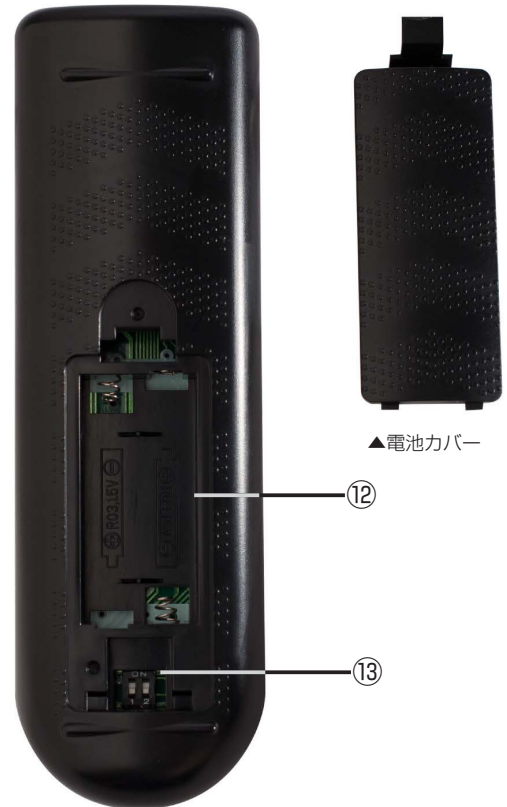
① IR Ext : IR 延長端子	IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。
② In 1 ~ In 4 : HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを使用して 4 系統の HD ソース機器を接続します。
③ Out 1 ~ Out 4 : HDMI 出力端子	HDMI ケーブルを使用して HD 表示機器を接続します。
④ IP Cont. : IP コントロールポート	イーサネットケーブルを使用してローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します (IP 制御)。詳しくは 24 ページ「■RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑤ USB : USB 端子	ファームウェアのアップグレードに使用します。詳しくは 43 ページ「■ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
⑥ RS-232 : RS-232 端子	RS-232 ケーブルを使用して RS-232 機器を接続します。詳しくは 24 ページ「■RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑦ 12V DC : 電源端子	付属の電源アダプターを接続します。ロック式端子の締めすぎにご注意ください。

■ IR リモコン

●前面



●背面



▲電池カバー

① Info ボタン	出力の情報を表示します。
② In(1 ~ 4) : 入力切替ボタン	入力を選択します。詳しくは 7 ページ「◆操作方法」を参照してください。
③ Mask : マスクボタン	選択している出力のマスキング / マスキング解除を切り替えます。詳しくは 9 ページ「●出力のマスキング / マスキング解除」を参照してください。
④ Menu : メニューボタン	内蔵のメニューシステムを呼び出します。
⑤ ▲▼▶◀ OK ボタン	メニューシステムの機能へのアクセス、変更に使用します。矢印ボタンでメニューの切り替えや値の変更を行います。OK ボタンで選択項目を確定します。
⑥ Exit ボタン	メインメニューまたはサブメニューを終了します。
⑦ Presets : プリセットスイッチ	プリセットを選択します。ボタン 7 と 9 は使用できません。詳しくは 7 ページ「◆操作方法」を参照してください。
⑧ Power : 電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。
⑨ Out(1 ~ 4) : 出力切替ボタン	出力を選択します。
⑩ Lock : ロック	本体をロックします。
⑪ Mute : ミュートボタン	全出力の音声信号をミュートします。
⑫ バッテリースロット	電池を収納します。単 4 電池をご使用ください。詳しくは 6 ページ「●電池交換」を参照してください。
⑬ DIP スイッチバンク	リモコンの IR チャンネルを設定します。詳しくは 6 ページ「●チャンネル設定」を参照してください。

●電池交換

- ① IR リモコン裏面の電池カバーを取り外します。
- ② +極と-極の方向を確認して電池を入れます。必ず単 4 電池× 2 本をお使いください。
- ③ 電池カバーを取り付けます。



警告：電極を逆にすると爆発の恐れがあります。十分にご注意ください。
また使用後は各地方自治体の指示に従って電池を処分してください。

●チャンネル設定

IR リモコンを使用するためには、本体と IR リモコンのチャンネル設定を同一にする必要があります。本体の IR チャンネルは、メニューシステムの Menu > SYSTEM > IR CHANNEL (p23 参照) またはウェブインターフェースのシステムページ (p42 参照) から設定できます。

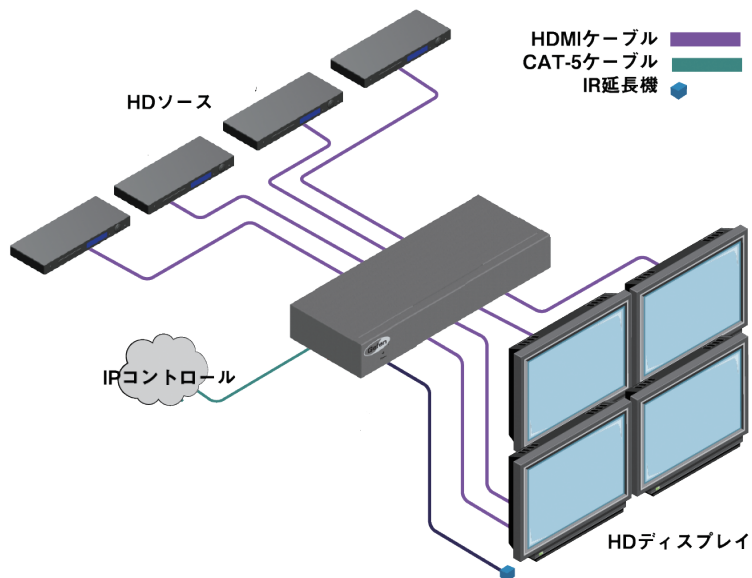


IR Channel	DIP settings
0 (default)	
1	
2	
3	

DIP スイッチ

■接続方法

- ① 本体の入力端子 (In 1 ~ In 4) へ HDMI ケーブルを使用して最大 4 台の HD ソース機器を接続します。
- ② 本体の出力端子 (Out 1 ~ Out 4) へ HDMI ケーブルを使用して最大 4 台の HD 表示機器を接続します。
- ③ オプション : RS-232 ケーブルを使用して、シリアルコントローラーの RS-232 端子と本体の RS-232 端子を接続します。
- ④ オプション : イーサネットケーブルを使用して、本体の IP Control 端子とローカルエリアネットワーク (LAN) を接続します。
- ⑤ オプション : IR Ext 端子に付属の IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。
- ⑥ 付属のロック式電源アダプターを本体に接続します。ロック式電源端子の締めすぎにご注意ください。
- ⑦ 電源をコンセントに接続します。



◆操作方法

■はじめに

●スタンバイモード

前面パネル Power スwitchの横にある LED は本体の電源ステータスを表示します。スタンバイモードの時は、本体へ電源供給はされていますがオフの状態です。このとき LED は赤く点灯します。LED が点灯しない時は電源アダプターやコンセントの接続をご確認ください。



●本体の電源を ON にする

Power スwitchを押して電源を ON にします。電源が ON のあいだ、Power スwitchは青く点灯します。再度 Power スwitch押すと本体はスタンバイモードに戻ります。



■ルーティングの基本

●ルーティングステータスの確認

本体左上にある LED インジケータ (5 個 x 4 セット) は、それぞれすぐ下の Output スwitchに対応します。



LED インジケータ 1 ~ 4 は本体の入力を示します。インジケータが点灯している入力はアクティブであることを表します。LED インジケータ「M」は、出力がマスキングされていることを表します。詳しくは 9 ページ【●出力のマスキング / マスキング解除】を参照してください。

Output スwitchを押すと入力信号を出力へルーティングします。選択中の Output スwitchは点灯します。例えば下記の例では、入力 1 は出力 1 にルーティングされています。



また、入力 2 は出力 2 に、入力 3 は出力 3 に、入力 4 は出力 4 にルートされています。入力の番号と出力の番号が一致する場合、これを「one-to-one」入力構成と呼び、これが工場出荷時のデフォルト設定となります。

●入力から出力へのルーティング

▼前面パネルスイッチによる設定

変更したい出力切替スイッチを押して、出力に割り当てる入力を切り替えます。下記の例では、入力 2 に接続しているソースは出力 2 にルーティングされています。では入力 4 を出力 2 にルーティングしてみましょう。



① Output 2 スイッチを押して出力 2 を選択します。Input 2 の LED が点灯し入力 2 は出力 2 へルーティングされていることを表します。



出力 2 を選択します。

② Output 2 スイッチを 2 回押します。



入力 4 を選択しています。

③ Input 4 の LED インジケータが点灯し、入力 4 が出力 2 へルーティングされていることを表します。

一度出力を選択すると次の出力が選択されるまで点灯し続けます。入力を切り替える前には必ず出力を選択してください。

▼ IR リモコンによる設定

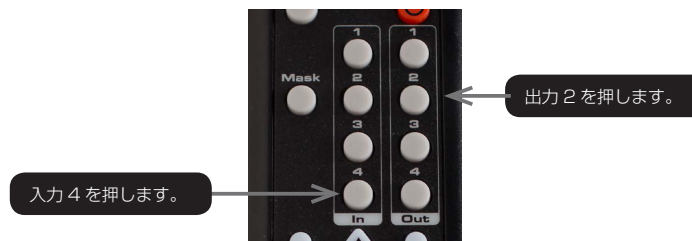
前面パネルスイッチの代わりに IR リモコンを使用して上記と同じ操作をします。

入力 2 は出力 2 へルーティングされています。IR リモコンを使用して入力 4 を出力 2 へルーティングしてみましょう。



① IR リモコンを本体の IR 受光部に向けます。

② 出力を選択します。この例では出力 2 を選択します。入力を選択する前に必ず出力を選択してください。



入力 4 を押します。

③ 入力を選択します。この例では入力 4 を選択します。



入力 4 を選択しています

④ Input 4 の LED が点灯します。入力 4 は出力 2 へルーティングされました。

●出力のマスキング / マスキング解除

「マスキング」機能を使うと、表示しない端子からの出力を止めることができます。電源を切ったり接続を外さずに、単独または複数の出力をマスキングすることができます。マスキング機能はシングル出力とマルチ出力構成に対応します。

▼前面パネルスイッチを使用する設定

① マスキングする出力の Output スイッチを押します。この例では、出力 2 を選択します。



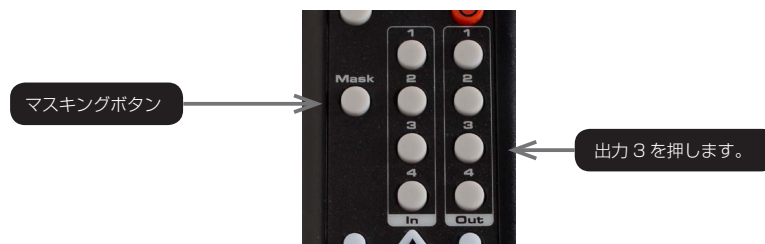
② 「M」 LED インジケータが点灯するまで Output 2 スイッチを長押しします。



③ 出力のマスキングを解除するには Output スイッチを押して入力を選択します。詳しくは 8 ページ「●入力から出力へのルーティング」を参照してください。

▼ IR リモコンを使用する設定

① マスキングする出力の Output スイッチを押します。この例では、出力 3 を選択します。



② 「Mask」 スイッチを押します。

③ 選択した出力と本体前面パネルの「M」 LED インジケータが点灯します。



④ 出力のマスキングを解除するには Output スイッチを押して入力を選択します。詳しくは 8 ページ「●入力から出力へのルーティング」を参照してください。

●プリセットの保存

本機には、入出力の構成を保存するプリセットが 10 個あります。プリセットの設定は本体の電源を切っても保存されます。

i IR リモコンによる設定はプリセットの保存に対応しません。

① 入出力の切り替えを行います。



上記の例では、出力 1 をマスキングし、入力 2 を出力 2 に、入力 3 を出力 3 にルーティングするように設定しています。

※入出力構成を保存する際は、マスキングされている出力も保存されます。

② 現在の入出力構成をプリセット [1] に保存します。前面パネルにあるプリセットスイッチ 1 を長押しします。



③ 数秒でプリセットスイッチ 1 が点灯し、入出力構成が保存されたことを表します。



●プリセットの呼出

▼前面パネルスイッチを使用する設定

① プリセットスイッチを押します。

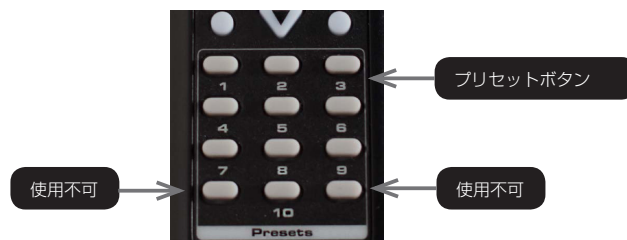
プリセットはメモリに読み込まれます。以下の例では、プリセット 3 が選択されています。

プリセットを選択している間、プリセットスイッチは点灯し続けます。



▼IR リモコンを使用する設定

① IR リモコンのプリセットボタンを押します。なお、左下と右下のボタンは使用できません。



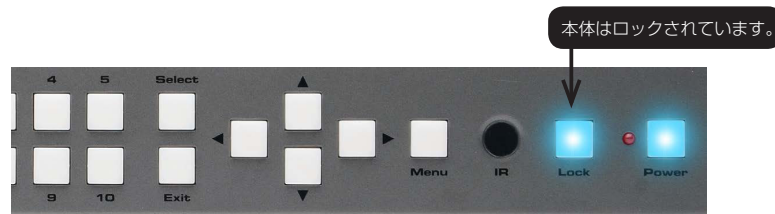
② プリセットはメモリに読み込まれます。プリセットを選択している間、プリセットスイッチは点灯し続けます。

■本体のロック / ロック解除

本体をロックすると、前面パネルにある全てのスイッチ (Lock ボタンを除く) は無効になるため、誤作動を防止します。

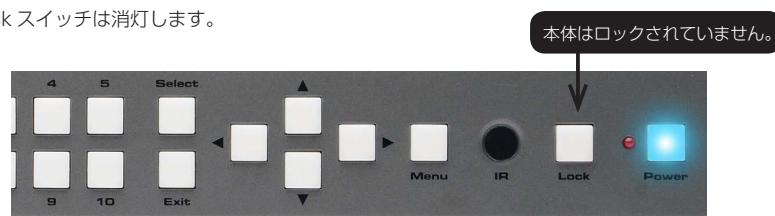
▼前面パネルスイッチによる設定

- ① 前面パネルの Lock スイッチを長押しすると、Lock スイッチが点滅します。
- ② 点灯が止まるまで Lock スイッチを押し続けます。
- ③ 本体はロックされました。本体がロックされている間 Lock スイッチは点灯し続けます。



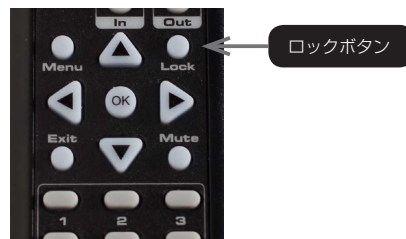
- ④ 本体のロックを解除するには、Lock スイッチを長押しします。Lock スイッチは点滅しはじめます。
- ⑤ Lock スイッチが点灯するまで押し続けます。
- ⑥ 本体のロックは解除されました。

本体のロックが解除されると、Lock スイッチは消灯します。

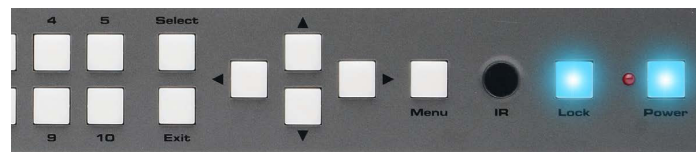


▼IR リモコンによる設定

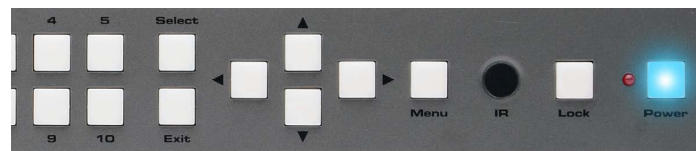
- ① IR リモコンの Lock スイッチを押します。



- ② 本体のロック中、前面パネルの Lock スイッチは点灯し続けます。

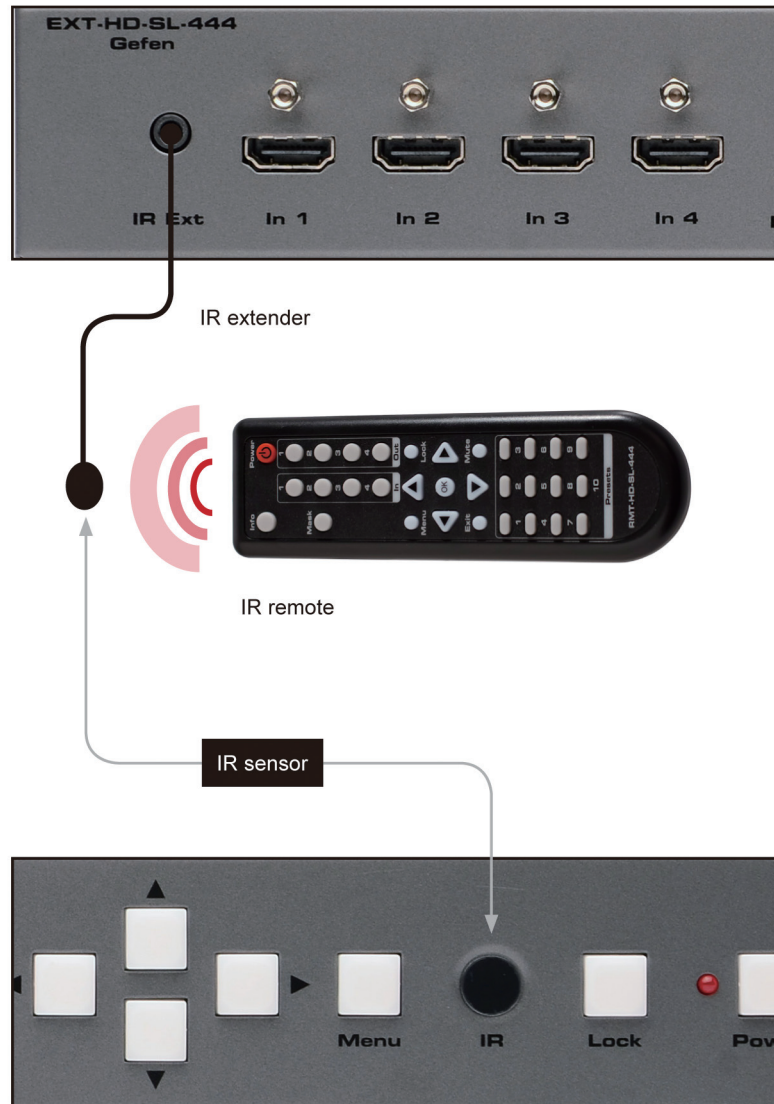


- ③ 本体のロックを解除するには、Lock スイッチを押します。
Lock スイッチは消灯し、本体のロックは解除されました。



■ IR 延長機の使用

設置するキャビネットやマウントされている機器によっては、IR センサーの受信を遮断することがあります。この場合、付属の IR 延長受光部を使用することをおすすめします。本体背面の IR 延長端子 (IR Ext.) に IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を接続してください。IR 延長受光部は本体の前面パネルにある IR 受光部と同じように動作します。なお、IR リモコンは常に IR センサーに向けて使用してください。



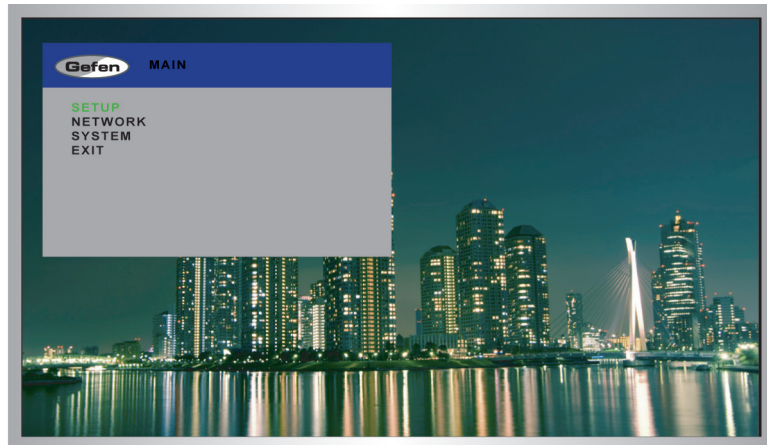
■メニューシステム

●メニューシステムへのアクセス

本機では内蔵メニューシステムを使用して、全てのビデオ機能を管理 / 操作します。メニューシステムにアクセスするには、前面パネルまたは付属の IR リモコンにある Menu スイッチを押します。

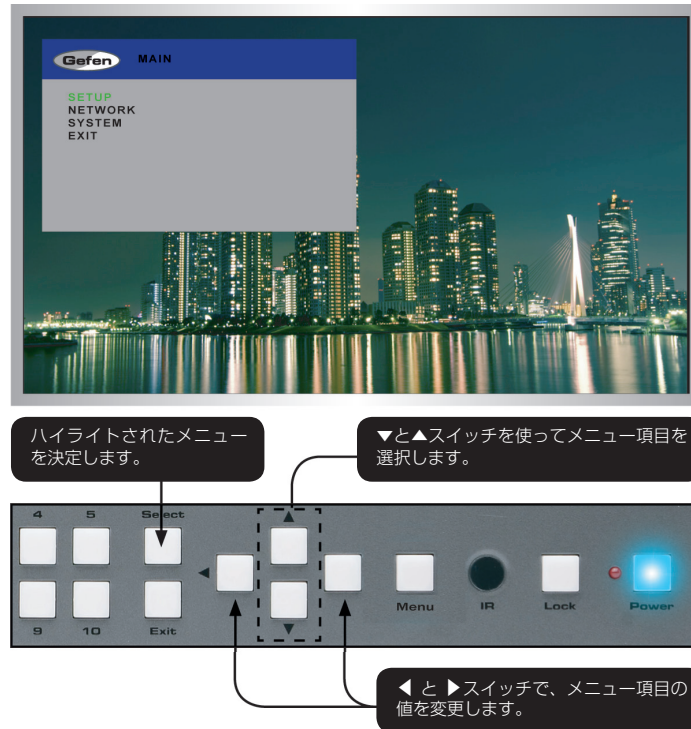
デフォルト設定では、画面の左上角にメニューシステムが表示されます。

メニューシステムのタイムアウト時間はメニューシステムの「OSD の設定」ページにて調整できます。



▼前面パネルスイッチによる設定

◀▶▲▼スイッチを使用してメニューシステムを操作します。▲▼スイッチを使ってメニューを上下に移動します。◀▶スイッチでメニュー内の値を変更し、Selectスイッチで決定します。選択中のメニューは緑色にハイライトされます。



▼IR リモコンによる設定

IR リモコンには、前面パネルボタンと同じ動作を行うボタンがあります。

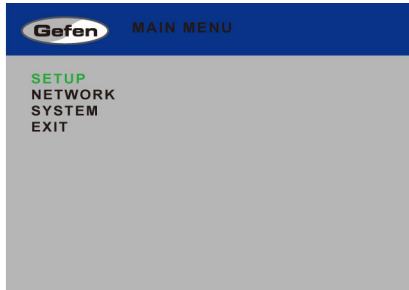
◀▶▲▼ボタンを使用して、メニューシステムを操作します。▲▼ボタンを使ってメニューを上下に移動します。◀▶ボタンでメニュー内の値を変更し、「OK」ボタンで決定します。選択中のメニューは緑色にハイライトされます。



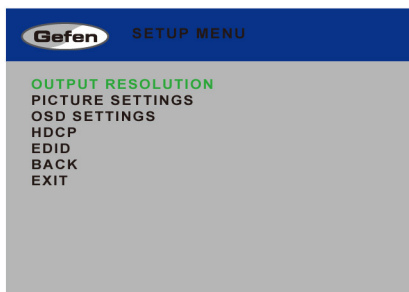
●出力解像度の設定

i この変更を実行する前に、ディスプレイが選択された出力の解像度をサポートすることを確認してください。

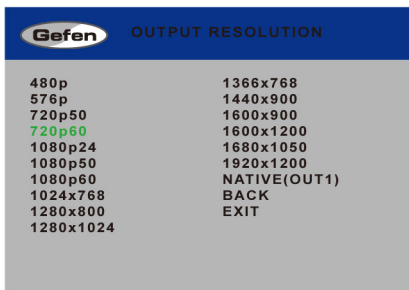
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチでメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの **Select** スイッチを押します。IR リモコンの場合は **OK** ボタンを押します。



- ③ 再度 **Select** スイッチを押すと、**OUTPUT RESOLUTION** メニューが表示されます。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。



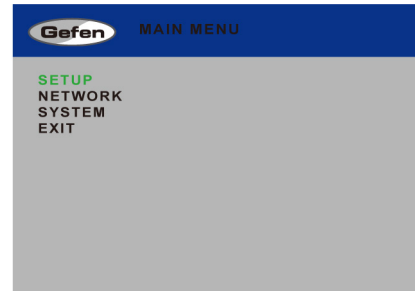
- ④ ▲▼スイッチを使用して出力解像度を選択します。
⑤ **Select** スイッチを押して変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

ディスプレイが選択した解像度をサポートしていない場合、#fadefault コマンドを使用して本体の解像度をリセットします。

コマンドについて、詳しくは 24 ページ「■ RS-232 と IP の構成」を参照してください。

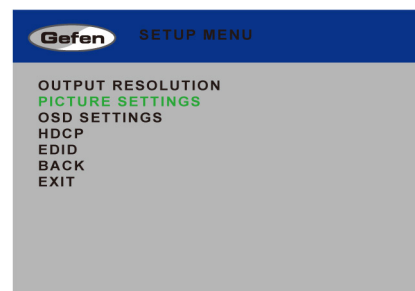
●コントラストの調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチでメニューシステムを表示します。



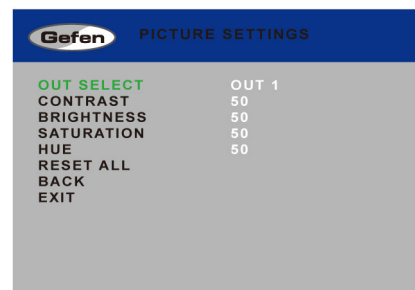
- ② **Select** スイッチを押して **SET UP** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

- ③ ▲▼スイッチを使用して、**PICTURE SETTINGS** を選択します。



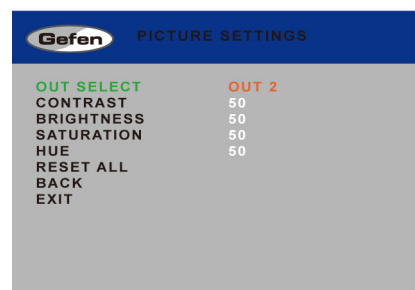
- ④ **Select** スイッチを押して **PICTURE SETTINGS** メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合は **OK** ボタンを押します。

- ⑤ **OUT SELECT** がハイライトされています。ハイライトされていない場合は ▲▼スイッチを使用して選択します。各出力は個別にコントラストを設定可能です。コントラストの調整を行う前に、必ず出力を選択してください。



- ⑥ **Select** スイッチを押して、**OUT SELECT** を選択します。

- ⑦ ◀▶スイッチを使用して希望の出力を選択します。選択している出力はオレンジ色にハイライトされます。

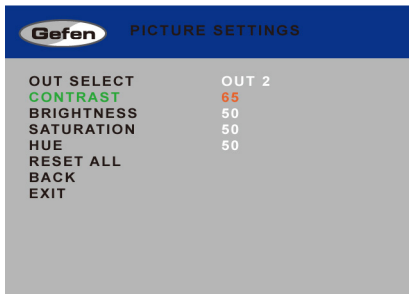


- ⑧ **Select** スイッチを押して、出力を決定します。

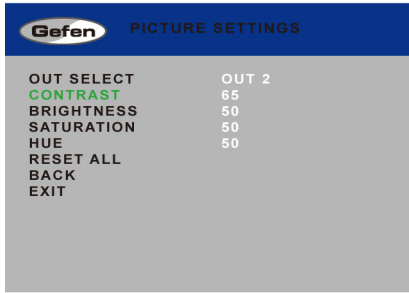
- ⑨ ▲▼スイッチを使用して、**CONTRAST** をハイライトします。

- ⑩ **Select** スイッチを押して、**CONTRAST** を決定します。

① ◀▶スイッチを使用して、コントラスト値を変更します。

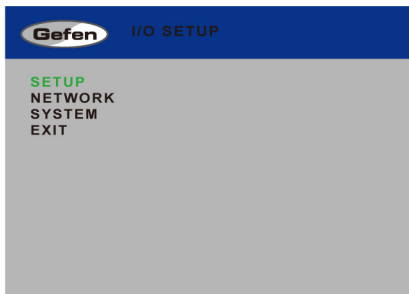


② Selectスイッチを押して、変更内容を実行します。



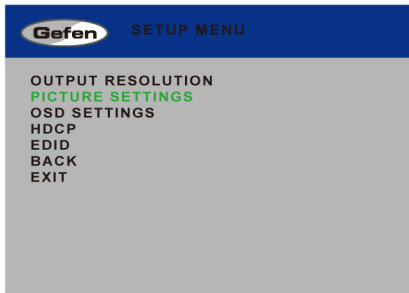
●輝度（ブライトネス）の調整

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。



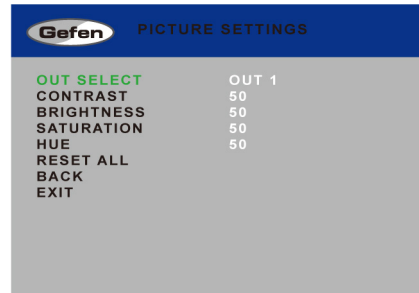
② Selectスイッチを押して SETUP MENU を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

③ ▲▼スイッチを使用して、PICTURE SETTINGS を選択します。



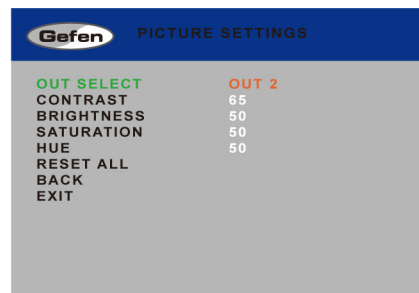
④ Selectスイッチを押して、PICTURE SETTINGS を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

⑤ OUT SELECT がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲▼スイッチを使用して OUT SELECT を選択します。各出力は個別に輝度（ブライトネス）を設定可能です。変更を行う前に必ず出力を選択してください。



⑥ Selectスイッチを押して OUT SELECT を決定します。

⑦ ◀▶スイッチを使用して、出力を選択します。決定した出力はオレンジ色にハイライトされます。

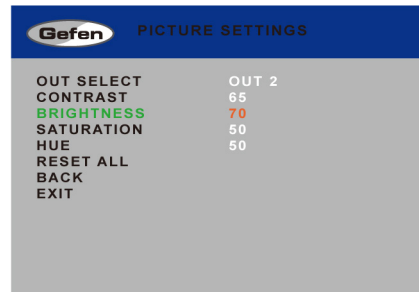


⑧ Selectスイッチを押して出力を決定します。

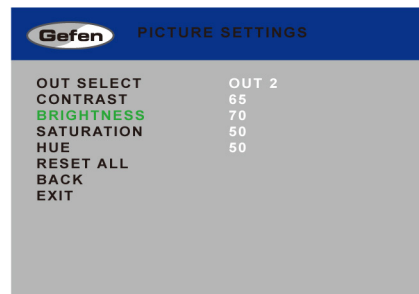
⑨ ▲▼スイッチを使用して、BRIGHTNESS を選択します。

⑩ Selectスイッチを押して、BRIGHTNESS を決定します。

⑪ ◀▶スイッチを使用して輝度値を変更します。

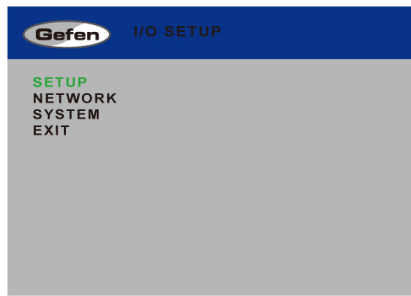


⑫ Selectスイッチを押して、変更内容を実行します。

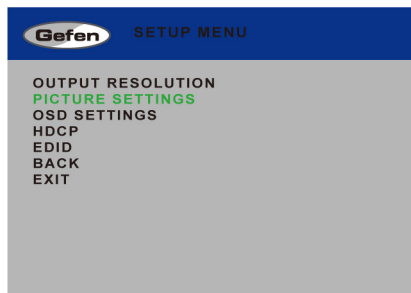


●サチュレーションの調整

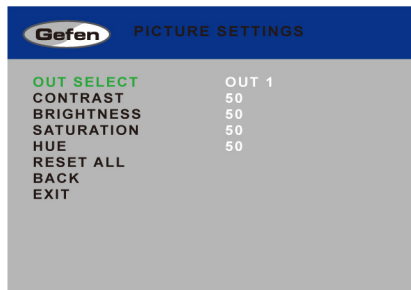
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチでメニューシステムを表示します。



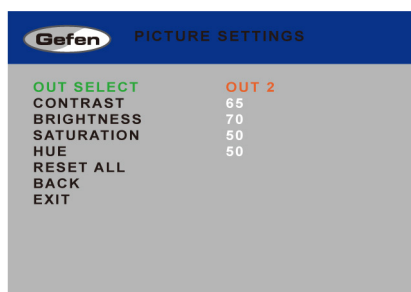
- ② Select スイッチを押して SETUP MENU を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。
③ ▲▼スイッチを使用して、PICTURE SETTINGS を選択します。



- ④ Select スイッチを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。
⑤ OUT SELECT がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲▼スイッチを使用して選択してください。各出力は個別にサチュレーションを設定可能です。調整前に必ず出力を選択してください。

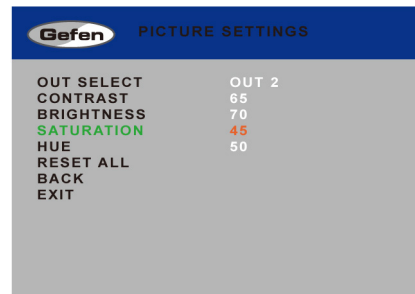


- ⑥ Select スイッチを押して、OUT SELECT を選択します。選択中の出力はオレンジ色にハイライトされます。
⑦ ◀ ▶スイッチを使用して希望の出力を選択します。

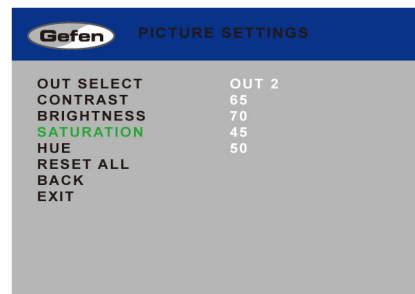


- ⑧ Select スイッチを押して、入力を決定します。

- ⑨ ▲▼スイッチを使用して、SATURATION をハイライトします。
⑩ Select スイッチを押して、SATURATION を選択します。
⑪ ◀ ▶スイッチを使用して、サチュレーション値を変更します。

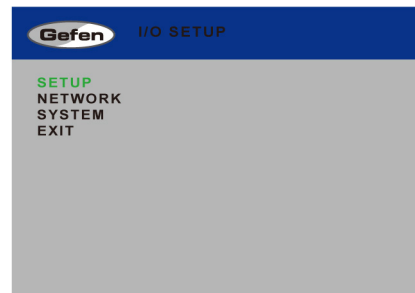


- ⑫ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。

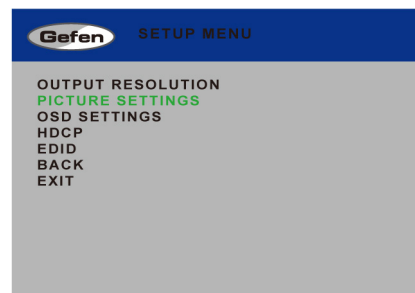


●色合いの調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押してメニューシステムを表示します。

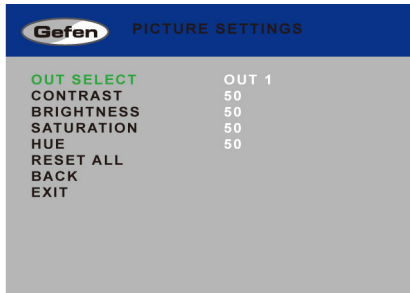


- ② Select スイッチを押して SETUP MENU を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。
③ ▲▼ボタンを使用して PICTURE SETTINGS をハイライトします。

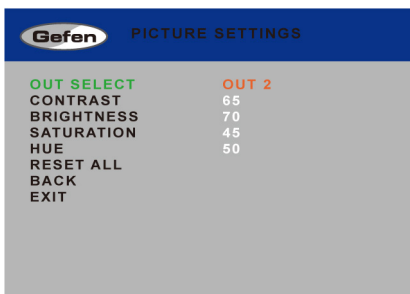


- ④ Select スイッチを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

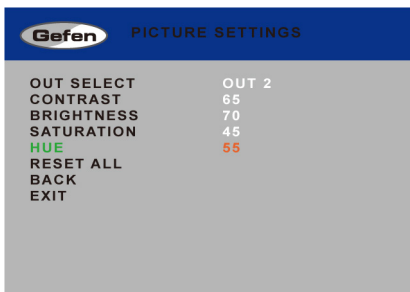
- ⑤ **OUT SELECT** がハイライトされます。ハイライトされない場合、▲または▼スイッチを使用して、**OUT SELECT** をハイライトします。各入力は個別に色合いを設定可能です。変更を行う前に必ず出力を選択してください。



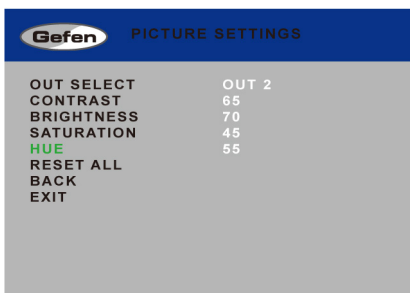
- ⑥ **Select** スイッチを押して、**OUT SELECT** を選択します。
⑦ ◀ ▶ スイッチを使用して、希望の出力を選択します。選択中の出力はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑧ **Select** スイッチを押して、出力を決定します。
⑨ ▲▼スイッチを使用して、**HUE** を選択します。
⑩ **Select** スイッチを押して、**HUE** を決定します。
⑪ ◀ ▶ スイッチを使用して、色合い値を変更します。



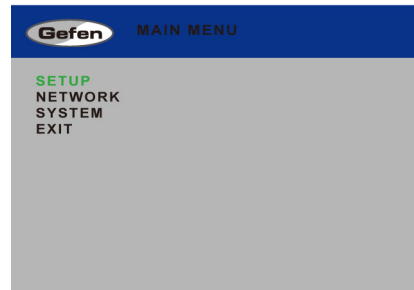
- ⑫ **Select** スイッチを押して、変更内容を実行します。



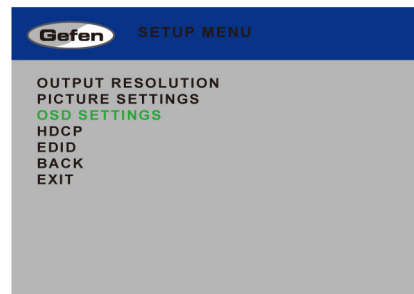
● OSD の設定

OSD の設定メニューは OSD の表示方法を設定します。

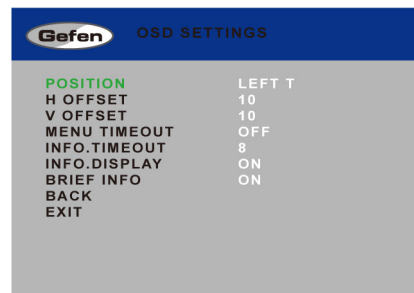
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチでメニューシステムを表示します。



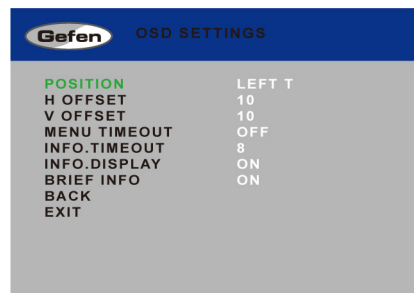
- ② **Select** スイッチを押します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。
③ ▲▼スイッチを使用して、**OSD SETTINGS** を選択します。



- ④ **Select** スイッチを押すと、**OSD SETTINGS** メニューが表示されます。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。



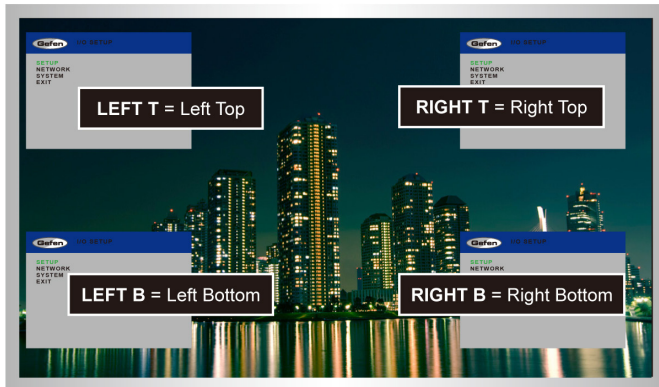
- ⑤ ▲▼スイッチを使用して変更する項目を選択します。自動的に **POSITION** が選択されています。



- ⑥ オプションを選択し **Select** スイッチで決定します。IR リモコン使用時は **OK** ボタンを押してください。選択すると現在の設定値がオレンジ色にハイライトされます。◀ ▶ スイッチを使用して値を変更します。

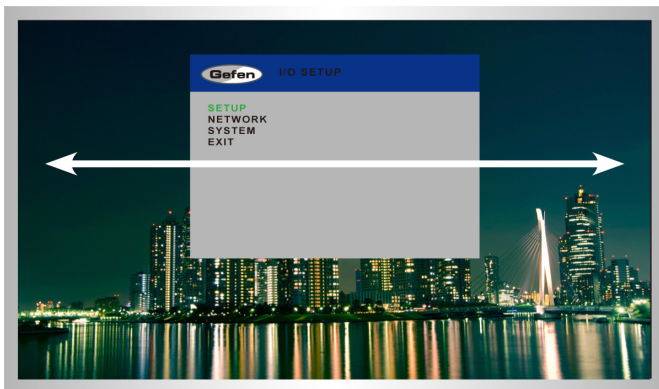
▼ POSITION

Menu スイッチを押した時に表示される OSD の場所を指定します。



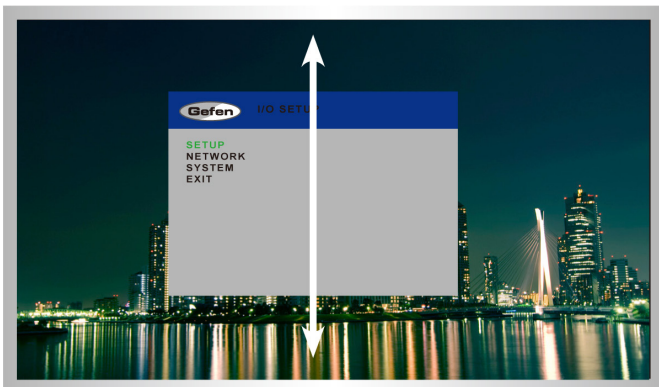
▼ H Offset

ディスプレイに表示される OSD の水平オフセットです。



▼ V Offset

ディスプレイに表示される OSD の垂直オフセットです。

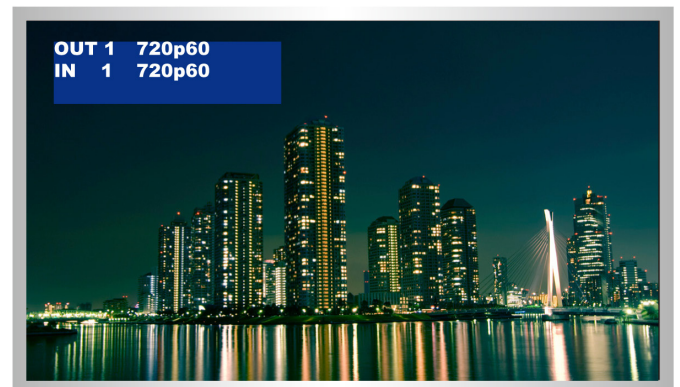


▼ Menu Timeout

Menu スイッチを押すと OSD が表示されます。タイムアウトは OSD 表示が自動的に画面から消えるまでの時間です (単位: 秒)。設定が「Off」の場合、手動で Menu スイッチを押して OSD を画面から消します。

▼ Info Timeout

初期設定では、各表示機器にステータスウィンドウを表示します。ステータスウィンドウには入出力の解像度が表示されます。タイムアウトは OSD 表示が自動的に画面から消えるまでの時間です (単位: 秒)。



▼ Info Display

ステータスウィンドウ表示を有効 / 無効にします、このオプションが「Off」の場合、ステータスウィンドウは表示されません。

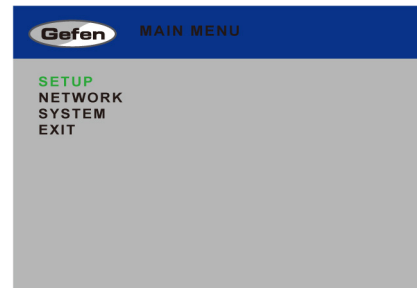
▼ Brief Info

このオプションは Info Display がオンの時に表示される情報を設定します。Info Display がオンの場合、入出力のルーティングステータスのみが表示されます。Info Display がオフの場合、解像度に関する情報も表示されます。

● HDCP

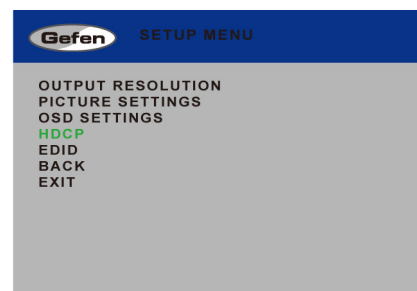
HDCP に準拠する表示機器を認識すると HDCP を有効にするソース機器 (コンピューター) がありますが、本体の入力は HDCP コンテンツに対応 / 非対応に設定できます。また、出力は入力の設定に合わせるかどうか (パススルー) を設定することができます。

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチでメニューシステムを表示します。

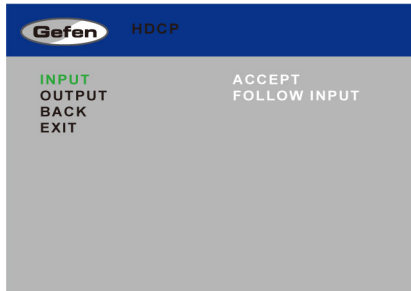


② Select スイッチを押すと、SETUP MENU が表示されます。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

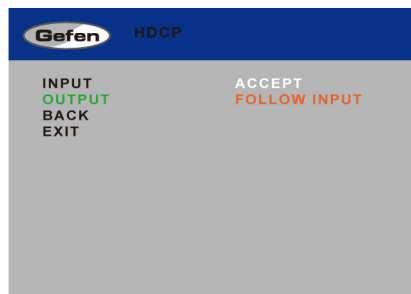
③ ▲▼スイッチを使用して、HDCP をハイライトします。



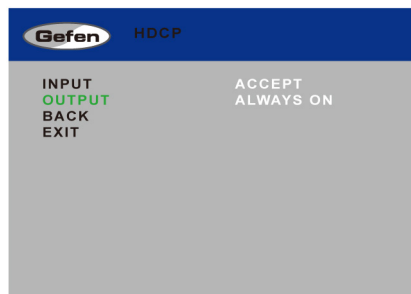
④ Select スイッチを押すと、HDCP のメニューが表示されます。



- ⑤ ▲▼スイッチを使用して、INPUT または OUTPUT をハイライトします。
 ⑥ Select スイッチを押して項目を選択します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



⑦ ◀▶スイッチを使用して、値を変更します。



Input = ACCEPT または NOT ACCEPT

- ・ACCEPT は HDCP コンテンツを入力にパススルーさせます。
- ・NOT ACCEPT は HDCP コンテンツを入力にパススルーさせません。

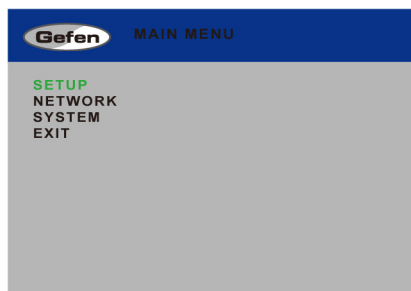
Output = ALWAYS ON または FOLLOW INPUT

- ・ALWAYS ON オプションは HDCP を出力にパススルーさせます。
- ・FOLLOW INPUT オプションの場合、出力は入力の設定に合わせます。

⑧ Select スイッチを押すと変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

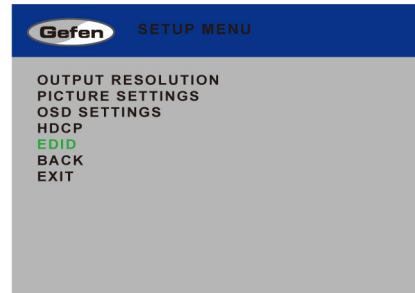
● EDID マネージメント

① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチでメニューシステムを表示します。

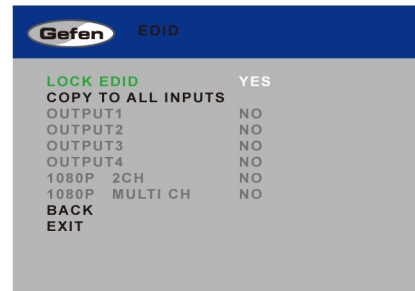


② Select スイッチを押します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

③ ▲▼ボタンを使用して、EDID をハイライトします。



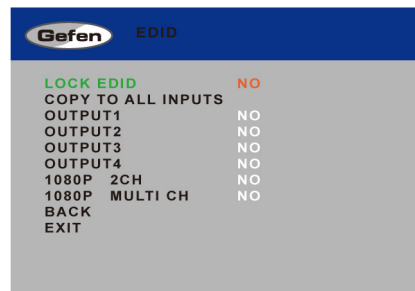
④ Select スイッチを押して EDID メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



⑤ Select スイッチを押して、LOCK EDID を選択します。

⑥ ◀▶スイッチを使用して、LOCK EDID の値を変更します。

⑦ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。



▼ EDID の選択

① LOCK EDID は必ず「NO」に設定されていることを確認します。

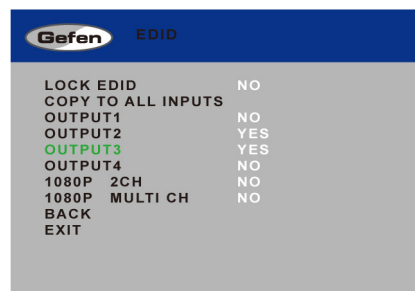
② ▲または▼スイッチを使用して、入力に EDID をコピーする出力をハイライトします。1080P 2 CH または 1080P MULTI CH EDID を選択することもできます。

EDID を選択する際は、全てのディスプレイが同じ AV 仕様をサポートすることを確認してください。

③ Select スイッチを押して変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

④ ◀▶スイッチを押して、変更の YES または NO を設定します。

⑤ Select スイッチを押して変更内容を実行します。



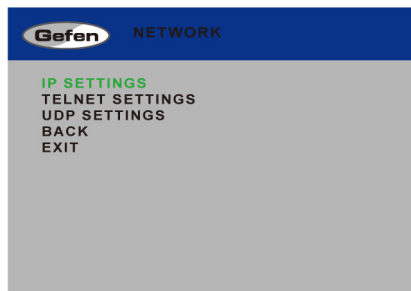
⑥ ディスプレイは一時的に点滅します。EDID は選択した出力から入力にコピーされ、全ての出力に割り当てます。

● IP 設定の変更

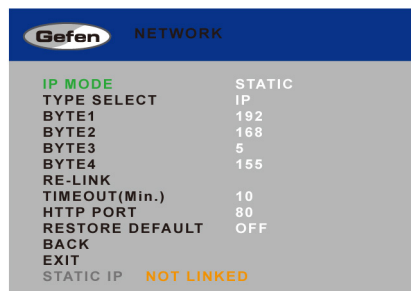
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押して、メニューシステムを表示します。
- ② ▲▼スイッチを使用して、NETWORK をハイライトします。



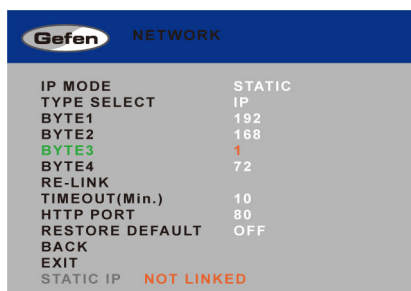
- ③ Select スイッチを押して、NETWORK のメニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



- ④ 再度 Select スイッチを押して IP SETTINGS を選択します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



- ⑤ ▲▼スイッチを使用して、IP MODE を選択します。
- ⑥ 実行する項目を選択したら Select スイッチで決定します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。項目を選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑦ ◀▶スイッチを使用して、値を変更します。
- ⑧ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

▼ IP Mode

このオプションを **Static** または **DHCP** に設定します。Static を使用する場合、IP アドレスを指定する必要があります。BYTE 1、BYTE 2、BYTE 3、BYTE 4 項目を使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Type Select

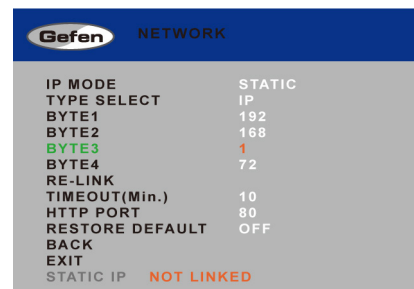
このオプションを使用して、IP アドレス (IP)、サブネットマスク (Mask) とゲートウェイ (Gate) を切り替えます。

▼ Byte

BYTE 1、BYTE 2、BYTE 3、BYTE 4 項目を使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Re-link

現在の IP 設定を使用して、ネットワークに再接続します。



▼ Timeout

RE-LINK を使用して、現在の IP 設定でネットワークにリンクするのタイムアウト期間 (単位: 秒) を設定します。

▼ HTTP Port

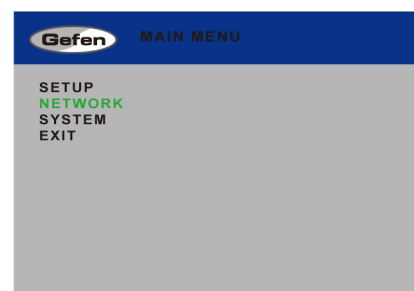
本体の HTTP リスニングポートを設定します。

▼ Restore Defaults

このオプションは本体のデフォルト IP 設定をリセットします。

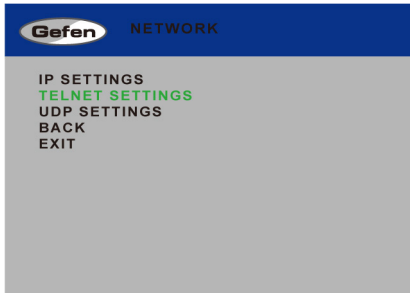
● Telnet 設定の変更

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押すと、メニューシステムを表示します。
- ② ▲▼スイッチを使用して、NETWORK を選択します。

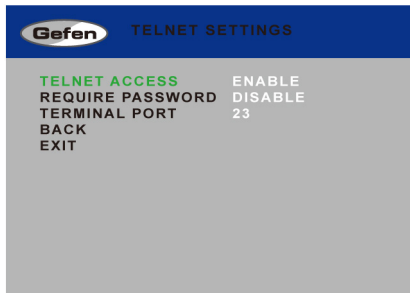


- ③ Select スイッチを押して、NETWORK メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

④ ▲▼スイッチを使用して、TELNET SETTINGS を選択します。

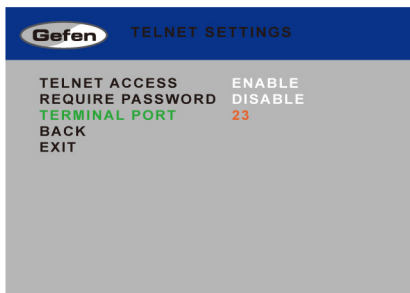


⑤ Select スイッチを押して、TELNET SETTINGS を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



⑥ ▲▼スイッチを使用して、TELNET ACCESS を選択します。

⑦ 実行する項目を選択したら、Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



項目を選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。

⑧ ◀▶スイッチを使用して値を変更します。

⑨ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

▼ Telnet Access

Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ Require Password

Telnet セッション開始前のパスワードの要求を有効 / 無効にします。

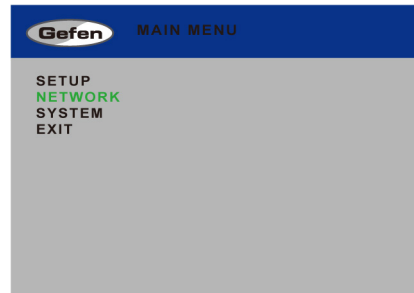
▼ Terminal Port

本体の Telnet リスニングポートを設定します。

● UDP 設定の変更

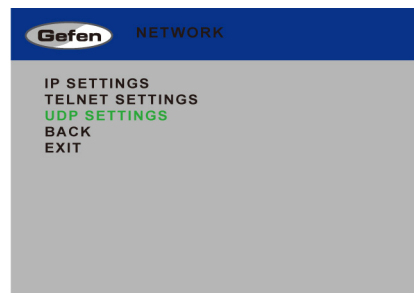
① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu スイッチを押すと、メニューシテムが表示されます。

② ▲▼ボタンを使用して、NETWORK を選択します。

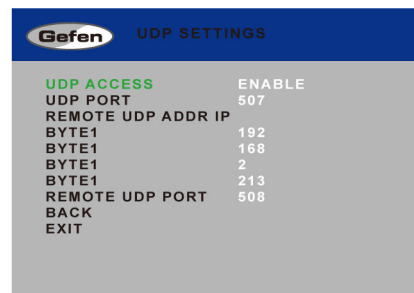


③ Select スイッチを押して、NETWORK を表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

④ ▲▼スイッチを使用して、UDP SETTINGS を選択します。



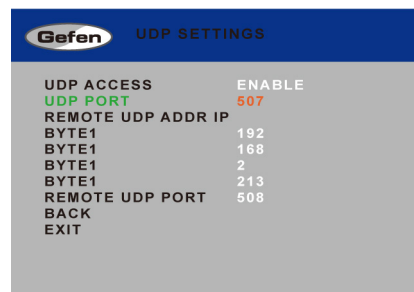
⑤ 再度 Select スイッチを押して、UDP SETTINGS メニューを表示します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。



⑥ ▲▼スイッチを使用して、UDP ACCESS を選択します。

⑦ 実行する項目を選択したら Select スイッチを押して実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

項目を選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



⑧ ◀▶スイッチを使用して、値を変更します。

⑨ Select スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、OK ボタンを押します。

▼ UDP Access

UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ UDP Port

本体の UDP ポートを設定します。

▼ Byte

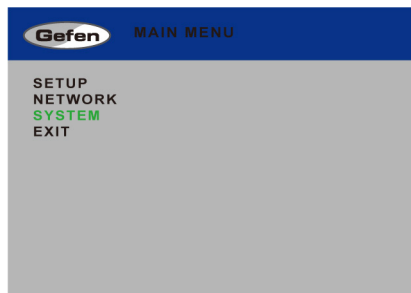
BYTE 1、BYTE 2、BYTE 3、BYTE 4 を使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Remote UDP Port

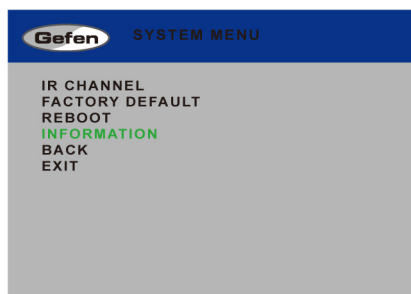
本体のリモコン UDP リスニングポートを設定します。

●システム設定

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** スイッチでメニューシステムを表示します。
- ② ▲▼スイッチを使用して、**SYSTEM** を選択します。



- ③ **Select** スイッチを押して、**SYSTEM** を表示します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

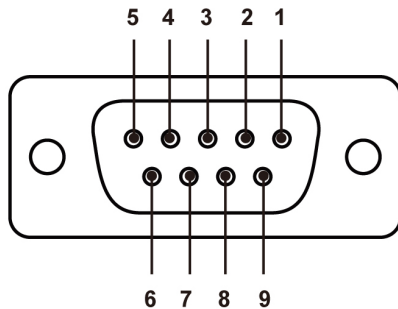


- ④ ▲▼スイッチを使用して、実行する項目を選択します。
- ⑤ **Select** スイッチを押して、変更内容を実行します。IR リモコンを使用する場合、**OK** ボタンを押します。

◆高度な操作

■ RS-232 と IP の構成

● RS-232 インターフェース



● RS-232 の設定

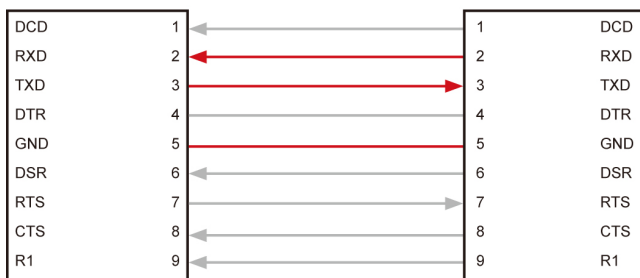
説明	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし



重要！ Telnet または RS-232 コマンドを出力する場合は、必ず キャリッジ・リターン (Od) と改行キャラクター (Oa) をコマンドの終わりに追加してください。

RS-232 Controller

Matrix



TXD、RXD 及び GND のみ使用します。

● IP/UDP の構成

本機は Telnet、UDP または内蔵ウェブ GUI を使用して、IP 制御をサポートします。IP 制御のセットアップは RS-232 経由で行われます。以下は本機のネットワークのデフォルト設定です。

説明	IP アドレス / ポート
IP アドレス	192.168.1.72
サブネット	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.254
HTTP ポート	80
UDP ポート	23
Local UDP ポート	50007
リモート UDP IP	192.168.1.255
リモート UDP ポート	50008

- ① RS-232 ケーブルを使用して PC と本体を接続します。イーサネットケーブルを使用して本体とネットワークを接続します。
- ② HyperTerminal などのターミナルエミュレーションアプリケーションを起動し、全項に記載されている RS-232 設定を使用して、以下の設定を行います。



ネットワークを介して本体が適切に通信するために、IP アドレスとその他の設定をネットワーク管理者に確認してください。

- ③ #set_ipadd コマンドを使用して、本体の IP アドレスを設定します。
- ④ #set_netmask コマンドを使用して、サブネットマスクを設定します。
- ⑤ #set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイ (ルーター) の IP アドレスを設定します。
- ⑥ #set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定します。
- ⑦ #set_http_port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定します。
- ⑧ #set_udp_remote_ip コマンドを使用して、本体の UDP リモート IP アドレスを設定します。
- ⑨ #set_udp_port コマンドを使用して、本体の UDP リスニングポートを設定します。
- ⑩ #set_udp_remote_port コマンドを使用して、本体の UDP リモートポートを設定します。
- ⑪ 本体を再起動して変更を有効にします。手順 3 にて指定した IP アドレスをウェブブラウザに入力し、ウェブ GUI にアクセスします。同じ IP アドレスを使用して、本体との Telnet 通信を行います。

■ コマンド

コマンド	説明	ページ
#display_telnet_welcome	Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。	26
# fadefault	本体を工場出荷時の設定に戻します。	26
#help	使用可能なコマンドの一覧を表示します。	26
# hdp_pluse	特定の入力の HPD ラインを再認識します。	26
#lock_edid	本体の再起動時に Local EDID をロックします。	26
#lock_matrix	本体のロック / ロック解除を行います。	26
#mask	出力のマスキングを実行します。	26
#mute	全出力をミュート / ミュート解除します。	26
#power	本体の電源をオン / オフします。	26
#reboot	本体を再起動します。	26
#recall_preset	ルーティングプリセットを呼び出します。	27
#save_preset	ルーティングプリセットを保存します。	27
#set_bank_name	バンクに名前を割り当てます。	27
#set_brightness	入力の輝度レベルを設定します。	27
#set_contrast	入力のコントラストレベルを設定します。	27
#set_edid	入力またはバンクに EDID の種類を指定します。	27
#set_gateway	ゲートウェイアドレスを設定します。	27
#set_hdcp	HDCP ステータスを設定します。	27
#set_http_port	HTTP リスニングポートを設定します。	28
#set_hue	入力の色合いを設定します。	28
#set_input_name	入力に名前を割り当てます。	28
#set_ipadd	IP アドレスを設定します。	28
#set_ipmode	IP モード (DHCP または Static) を設定します。	28
#set_netmask	サブネットマスクを設定します。	28
#set_output	出力の解像度を設定します。	28
#set_output_name	出力に名前を割り当てます。	28
#set_preset_name	プリセットに名前を割り当てます。	28
#set_saturation	入力のサチュレーションを設定します。	29
#set_telnet_pass	Telnet のパスワードを設定します。	29
#set_telnet_port	Telnet のリスニングポートを設定します。	29
#set_udp_port	UDP リスニングポートを設定します。	29
#set_udp_remote_ip	リモート UDP の IP アドレスを設定します。	29
#set_udp_remote_port	リモート UDP ポートを設定します。	29
#set_webui_ad_pass	ウェブインターフェース のアドミニストレーターパスワードを設定します。	29
#set_webui_op_pass	ウェブインターフェース のオペレーターパスワードを設定します。	29
#show_bank_name	EDID バンク名を表示します。	29
#show_brightness	入力の輝度値を表示します。	29
#show_contrast	入力のコントラスト値を表示します。	29
#show_gateway	ゲートウェイの IP アドレスを表示します。	29
#show_hdcp	入力の HDCP ステータスを表示します。	30
#show_http_port	HTTP リスニングポートを表示します。	30
#show_hue	入力の色合い値を表示します。	30
#show_ip	現在の本体の IP アドレスを表示します。	30
#show_ipconfig	現在の本体の TCP/IP 設定を表示します。	30
#show_ipmode	現在の IP モード (DHCP または静的) を表示します。	30
#show_mac_addr	本体の MAC アドレスを表示します。	30
#show_netmask	現在のサブネットマスクを表示します。	30
#show_output	現在の出力の解像度を表示します。	30
#show_power	本体の電源ステータスを表示します。	30
#show_preset_name	プリセット名を表示します。	30
#show_saturation	入力のサチュレーション値を表示します。	30
#show_telnet_port	現在の Telnet ポートを表示します。	30
#show_udp_port	現在の UDP シリアルポートを表示します。	31
#show_udp_remote_ip	現在の UDP リモートの IP アドレスを表示します。	31
#show_udp_remote_port	現在の UDP リモートポートを表示します。	31
#show_ver_data	現在のハードウェアとソフトウェアバージョンを表示します。	31
#unmask	出力のマスキングを解除します。	31
#use_tcp_access	Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。	31
#use_telnet_pass	Telnet セッションにパスワード認証を強要します。	31
#use_udp_access	UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。	31
m	本体のルーティングステータスを表示します。	31
r	特定の入力を出力にルーティングします。	31
s	特定の入力を全出力にルーティングします。	31

● #display_telnet_welcome

#display_telnet_welcome コマンドは、Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。

構文.....#display_telnet_welcome param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	ウェルカムメッセージを無効にする。
1	ウェルカムメッセージを有効にする。

構文例.....#display_telnet_welcome 1

TELNET ウェルカムメッセージを有効にします。

この設定が有効な時に Telnet セッションを開始すると、次のメッセージが表示されます：

Welcome to EXT-HD-SL-444 TELNET

● #fadefault

#fadefault コマンドは、本体を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。出力のマスキングは解除され、全ての IP と UDP 設定はリセットされます。

構文.....#fadefault

パラメーターなし

構文例.....#fadefault

```
MATRIX WAS RESET TO FACTORY DEFAULTS
IP: 192.168.5.155
Netmask: 255.255.255.0
Gateway: 192.168.5.254
Warning : Ethernet Cable UnPlugged!!
Ethernet Cable Plug in!!
```

● #help

#help コマンドは使用可能な RS-232/Telnet コマンドを表示します。param1 を使用すると、特定のコマンドのヘルプ情報が表示されます。

構文.....#help param1

パラメーターparam1 コマンド名 (オプション)

構文例.....#help #sipadd

```
SET IP ADDRESS(FOR STATIC)
CMD : #SET_IPADD PARAM1
PARAM1 = ddd.ddd.ddd.ddd
```

● #hdp_pulse

#hdp_pulse コマンドは特定の入力の HPD ラインを再認識します。ソース機器と本体のケーブルを取り外して、再接続することと同じ動作を実行します。

構文.....#hdp_pulse param1

パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]

構文例.....#hdp_pulse 1

入力 1 の HPD ラインを再認識します。

● #lock_edid

#lock_edid コマンドは、本体の電源オン時のダウンストリーム EDID の自動読み込み機能を無効にして、Local EDID をロックします。

構文.....#lock_edid param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	EDID ロックを解除する。
1	Lock EDID をロックする。

構文例.....#lock_edid 0

本体の EDID ロックを解除します。

#lock_edid 1

本体の EDID をロックします。

● #lock_matrix

#lock_matrix コマンドはマトリクス (本体) のロック / ロック解除を行います。本体がロックされている場合、前面パネル、RS-232、Telnet 経由で実行する全ての機能は無効になります。

構文.....#lock_matrix param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	本体のロックを解除する。
1	本体をロックする。

構文例.....#lock_matrix 1

本体をロックします

● #mask

#mask コマンドは特定のビデオ出力をマスキングします。#unmask コマンドを使用してマスキングを解除できます。param1 = 0 の場合、全ての出力はマスキングされます。

構文.....#mask param1

パラメーターparam1 出力 [0 ... 4]

構文例.....#mask 1

出力 1 をマスキングします。

#mask 0

全出力をマスキングします。

● #mute

#mute コマンドは全出力のオーディオをミュート / ミュート解除します。

構文.....#mute param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	ロックを解除する。
1	ロックする。

構文例.....#mute 1

オーディオ信号をミュートします。

● #power

#power コマンドは本体の電源をオン / オフします。

構文.....#power param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#power 0

電源をオフにします。

#power 1

電源をオンにします。

● #reboot

#reboot コマンドは本体を再起動します。このコマンドを実行すると、本体背面にある電源コードを挿し直すと同様な操作が行われます。IP の設定を変更した場合、必ず本体を再起動してください。

構文.....#reboot

パラメーターなし

構文例.....#reboot

```
DEVICE HAS BEEN REBOOTED
IP: 192.168.5.155
Netmask: 255.255.255.0
Gateway: 192.168.5.254
Ethernet Cable Plug in!!
```

● #recall_preset

#recall_preset コマンドはルーティングプリセットを呼び出します。

構文.....#recall_preset param1

パラメーターparam1 プリセット [1 ... 10]

構文例.....#recall_preset 2
INPUT 4 IS ROUTED TO WINDOW OUTPUT A
RECALL ROUTING STATE PRESET 2

● #save_preset

#save_preset コマンドは現在のルーティングステータスを指定のプリセットに保存します。

構文.....#save_preset param1

パラメーターparam1 プリセット [1 ... 10]

構文例.....#save_preset 1
現在のルーティングステータスをプリセット 1 に保存します。

● #set_bank_name

#set_bank_name コマンドはバンクに名前を割り当てます。

構文.....#set_bank_name param1 param2

パラメーターparam1 バンク [1 ... 8]
param2 名称

構文例.....#set_bank_name 5 Dell_24
バンク 5 の名称に Dell24 を割り当てます。

● set_brightness

#set_brightness コマンドは入力ビデオ信号の輝度レベルを設定します。

構文.....#set_brightness param1 param2

パラメーターparam1 Input [0 ... 4]
.....param2 Level [0 ... 100]

構文例.....#set_brightness 1 65
入力 1 の輝度レベルを 65 に設定します。
#set_brightness 0 65
全入力の輝度レベルを 65 に設定します。

● #set_contrast

#set_contrast コマンドは出力するビデオ信号のコントラストレベルを設定します。

構文.....#set_contrast param1 param2

パラメーターparam1 Input [0 ... 4]
param2 Level [0 ... 100]

構文例.....#set_contrast 1 74
入力 1 のコントラストレベルを 74 に設定します。
#set_contrast 0 74
全入力のコントラストレベルを 74 に設定します。

● #set_edid

#set_edid コマンドは入力またはバンクに EDID の種類を指定します。

構文.....#set_edid param1 param2 param3 param4

パラメーターparam1 ソース機器 [STRING]

ソース機器	説明
Int	デフォルト (内部) EDID を使用する。
Bank	EDID バンクを使用する。
Output	出力 (シンク機器) の EDID を使用する。

param2 ソース機器 [1 ... 8]

ソース機器	説明
1 ~ 2	1 = 1080p/2ch 2 = 1080p/ マルチチャンネル
1 ~ 8	EDID バンク
1 ~ 4	出力

param3 対象 [STRING]

対象	説明
入力	入力を指定する。
バンク	EDID バンクを指定する。

param4 対象 [1 ... 8]

値	説明
1 ~ 4	入力
1 ~ 8	EDID バンク

構文例.....#set_edid int 2 INPUT 4
内部 EDID2 を入力 4 に保存します。
#set_edid BANK 3 BANK 5
バンク 3 の EDID をバンク 5 に保存します。

● #set_gateway

#set_gateway コマンドはゲートウェイアドレスを設定します。ゲートウェイアドレスを設定する際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、ゲートウェイのデフォルト設定は 192.168.1.1 です。

構文.....#set_gateway param1

パラメーターparam1 ゲートウェイ

構文例.....#set_gateway 192.168.1.5
GATEWAY を 192.168.1.5 に設定します。

● #set_hdcp

#set_hdcp コマンドは入力 / 出力の HDCP ステータスを設定します。

構文.....#set_hdcp param1 param2

パラメーターparam1 入力 [0 ... 1]

値	説明
0	入力
1	出力

param2 値 [0 ... 1]

値	説明
0	有効にする
1	無効にする

構文例.....#set_hdcp 0 1
HDCP 入力は無効です。
#set_hdcp 1 1
HDCP 出力は無効です。

● #set_http_port

#set_http_port コマンドはウェブサーバーのリスニングポートを指定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、デフォルトポートは 80 です。#show_http_port コマンドを使用して、現在の HTTP リスニングポートを確認できます。

構文.....#set_http_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_http_port 82

ウェブサーバーのリスニングポートを 82 に設定します。

● #set_hue

#set_hue コマンドは入力の色合いを設定します。

構文.....#set_hue param1 param2

パラメーターparam1 Input [0 ...4]

.....param2 値 [0 ... 100]

構文例.....#set_hue 1 30

入力 1 の色合いを 30 に設定します。

#set_hue 0 30

全入力の色合いを 30 に設定します。

● #set_input_name

#set_input_name コマンドは入力に名称を割り当てます。

構文.....#set_input_name param1 param2

パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]

param2 名称

構文例.....#set_input_name 3 Blu-ray

入力 3 の名称を Blu-ray に設定します。

● #set_ipadd

#set_ipadd コマンドは本体の IP アドレスを設定します。IP アドレスを設定する際に必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、IP アドレスのデフォルト設定は 192.168.1.72 です。#show_ipconfig コマンドを使用して、現在の IP アドレスを確認できます。

構文.....#set_ipadd param1

パラメーターparam1 IP アドレス

構文例.....#set_ipadd 192.168.1.190

IP ADDRESS : 192.168.1.190

● #set_ipmode

#set_ipmode コマンドは IP モードを DHCP または Static(静的) に設定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。#show_ipmode コマンドを使用して、現在の IP モードを確認できます。

構文.....#set_ipmode param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	Static(静的)
1	DHCP

構文例.....#set_ipmode 1

IP モードは静的に設定します。

設定を有効にするために再起動してください。

● #set_netmask

#set_netmask コマンドはサブネットマスクを設定します。サブネットマスクを設定する際に必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、サブネットマスクのデフォルト設定は 255.255.255.0 です。#show_netmask または #show_ipconfig コマンドを使用して、現在のサブネットマスクを表示します。

構文.....#set_netmask param1

パラメーターparam1 サブネットマスク

構文例.....#set_netmask 255.255.255.0

サブネットマスクを 255.255.255.0 に設定します。

● #set_output

#set_output コマンドは出力の解像度を設定します。指定された解像度は全出力に設定されます。#show_output コマンドを使用して、現在の出力の解像度を表示します。

構文.....#set_output param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 16]

値	説明
0	480p
1	576p
2	720p@50 Hz
3	720p@60 Hz
4	1080p@24 Hz
5	1080p@50 Hz
6	1080p@60 Hz
7	1024 × 768
8	1280 × 800
9	1280 × 1024
10	1366 × 768
11	1440 × 900
12	1600 × 900
13	1600 × 1200
14	1680 × 1050
15	1920 × 1200
16	ネイティブ

構文例.....#set_output 3

出力解像度を 720p@60Hz に設定します。

● #set_output_name

#set_output_name コマンドは出力に名称を割り当てます。出力名は最大 15 桁です。15 桁以上は省略されます。

構文.....#set_output_name param1 param2

パラメーターparam1 出力 [1 ... 4]

param2 名称

構文例.....#set_output_name 3 Sony_XBR

出力 3 の名称を Sony XBR に設定します。

● #set_preset_name

#set_preset_name コマンドはプリセットに名称を割り当てます。プリセット名は最大 8 桁です。8 桁以上は省略されます。#show_preset_name コマンドを使用して、プリセット名を表示します。

構文.....#set_preset_name param1 param2

パラメーターparam1 プリセット [1 ... 10]

param2 名称

構文例.....#set_preset_name 4 BR2Out2

プリセット 4 の名称を BR2Out2 に設定します。

● #set_saturation

#set_saturation コマンドは入力のカラーサチュレーションレベルを設定します。

構文.....#set_saturation param1

パラメーターparam1 入力 [0 ... 4]
param2 レベル [0 ... 100]

構文例.....#set_saturation 1 65
入力 1 のサチュレーションレベルを 65 に設定します。

#set_saturation 0 65
全入力のサチュレーションレベルを 65 に設定します。

● #set_telnet_pass

#set_telnet_pass コマンドは Telnet のパスワードを設定します。パスワードは最大 10 桁です。

構文.....#set_telnet_pass param1

パラメーターparam1 パスワード [STRING]

構文例.....#set_telnet_pass bossman
Telnet パスワードを bossman に設定します。

● #set_telnet_port

#set_telnet_port コマンドは Telnet リスニングポートを設定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。ポートのデフォルト設定は 23 です。#show_telnet_port コマンドを使用して、現在の Telnet リスニングポートを表示します。

構文.....#set_telnet_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_telnet_port 24
TELNET リスニングポートを 24 に設定します。

● #set_udp_port

#set_udp_port コマンドは UDP リスニングポートを設定します。#show_udp_port コマンドを使用して、現在の UDP リスニングポートを確認できます。

構文.....#set_udp_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_udp_port 1002
UDP リスニングポートを 1002 に設定します。

● #set_udp_remote_ip

#set_udp_remote_ip コマンドはリモート UDP の IP アドレスを設定します。IP アドレスを設定する際に必ずドットを使用してください。リモート UDP の IP アドレスのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.255 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。#show_udp_remote_ip コマンドを使用して、現在のリモート UDP の IP アドレスを確認できます。

構文.....#set_udp_remote_ip param1

パラメーターparam1 UDP アドレス

構文例.....#set_udp_remote_ip 192.168.1.227
UDP REMOTE IP ADDRESS : 192.168.1.227

● #set_udp_remote_port

#set_udp_remote_port コマンドはリモート UDP リスニングポートを設定します。リモート UDP リスニングポートのデフォルトは 50008 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。#show_udp_remote_port コマンドを使用して、現在のリモート UDP IP アドレスを確認できます。

構文.....#set_udp_remote_port param1

パラメーターparam1 ポート [0 ... 65535]

構文例.....#set_udp_remote_port 50008
リモート UDP リスニングポートを 50008 に設定します。

● #set_webui_ad_pass

#set_webui_ad_pass コマンドはウェブ GUI のアドミニストレーターパスワードを設定します。パスワードは最大 8 桁です。大文字と小文字の区別があります。デフォルトのパスワードは「Admin」です。

構文.....#set_webui_ad_pass param1

パラメーターparam1 パスワード

構文例.....#set_webui_ad_pass bossman
ウェブ GUI のアドミニストレーターパスワードを bossman に設定します。

● #set_webui_op_pass

#set_webui_op_pass コマンドはウェブ GUI のオペレーターパスワードを設定します。デフォルトのパスワードは「Admin」です。

構文.....#set_webui_op_pass param1

パラメーターparam1 パスワード

構文例.....#set_webui_op_pass minion
ウェブ GUI のオペレーターパスワードを minion に設定します。

● #show_bank_name

#show_bank_name コマンドは特定の EDID バンク名を表示します。#set_bank_name コマンドを使用して、EDID バンクに名称を設定できます。

構文.....#show_bank_name param1

パラメーターparam1 バンク [1 ... 8]

構文例.....#show_bank_name 5
THE NAME FOR BANK5 IS : Dell24

● #show_brightness

#show_brightness コマンドは入力の輝度レベルを表示します。#set_brightness コマンドを使用して、輝度値を設定できます。

構文.....#show_brightness param1

パラメーターparam1 入力 [0 ... 4]

構文例.....#show_brightness 1
INPUT 1 BRIGHTNESS VALUE : 65

● #show_contrast

#show_contrast コマンドは入力のコントラストレベルを表示します。#set_contrast コマンドを使用して、コントラスト値を設定します。

構文.....#show_contrast param1

パラメーターparam1 入力 [0 ... 4]

構文例.....#show_contrast 1
INPUT 1 CONTRAST VALUE : 74

● #show_gateway

#show_gateway コマンドは現在のゲートウェイアドレスを表示します。#set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイアドレスを設定できます。

構文.....#show_gateway

パラメーターなし

構文例.....#show_gateway
GATEWAY:192.168.1.11

● #show_hdcp

#show_hdcp コマンドは現在の入力または出力の HDCP 設定を表示します。
#set_hdcp コマンドを使用して、HDCP 入出力ステータスを設定できます。

構文.....#show_hdcp param1
パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	入力信号に従います。
1	出力信号に従います。

構文例.....#show_hdcp 0
HDCP INPUT IS SET TO ACCEPT

#show_hdcp 1
HDCP OUTPUT IS SET TO FOLLOW INPUT

● #show_http_port

#show_http_port コマンドは本機の HTTP リスニングポートを表示します。
#set_http_port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定できます。

構文.....#show_http_port
パラメーターなし

構文例.....#show_http_port
HTTP PORT IS 80

● #show_hue

#show_hue コマンドは入力の色合いの設定を表示します。

構文.....#show_hue
パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]

構文例.....#show_hue 1
INPUT 1 HUE VALUE : 30

● #show_ip

#show_ip コマンドは現在設定している本体の IP アドレスを表示します。

構文.....#show_ip
パラメーターなし

構文例.....#show_ip
IP ADDRESS : 192.168.1.190

● #show_ipconfig

#show_ipconfig コマンドは現在の TCP/IP の設定を表示します。

構文.....#show_ipconfig
パラメーターなし

構文例.....#show_ipconfig
IP CONFIGURATION IS:
(STATIC)
IP : 192.168.1.190
NETMASK : 255.255.255.0
GATEWAY : 192.168.1.11
MAC ADDRESS = 00:1c:91:03:b0:00

● #show_ipmode

#show_ipmode コマンドは現在の IP モードを表示します。#set_ipmode コマンドを使用して、IP モードを設定します。

構文.....#show_ipmode
パラメーターなし

構文例.....#show_ipmode
IP MODE IS SET TO STATIC

● #show_mac_addr

#show_mac_addr コマンドは本体の MAC アドレスを表示します。

構文.....#show_mac_addr
パラメーターなし

構文例.....#show_mac_addr
MAC ADDRESS IS 00:1c:91:03:b0:00

● #show_netmask

#show_netmask コマンドは現在のネットマスクを表示します。#set_netmask コマンドを使用して、ネットマスクを設定できます。

構文.....#show_netmask
パラメーターなし

構文例.....#show_netmask
NETMASK : 255.255.255.0

● #show_output

#show_output コマンドは現在の出力解像度を表示します。#set_output コマンドを使用して、出力の解像度を設定します。

構文.....#show_output
パラメーターなし

構文例.....#show_output
OUTPUT RESOLUTION IS SET TO : 720p60

● #show_power

#show_power コマンドは現在の電源のステータスを表示します。#power コマンドを使用して、本体の電源をオン/オフできます。

構文.....#show_power
パラメーターなし

構文例.....#show_power
POWER IS ON

● #show_preset_name

#show_preset_name コマンドは特定のプリセット名を表示します。#set_preset_name コマンドを使用して、プリセット名を設定できます。

構文.....#show_preset_name param1
パラメーターparam1 プリセット [1... 10]

構文例.....#show_preset_name 4
THE NAME FOR PRESET4 IS : BR2_Out2

● #show_saturation

#show_saturation コマンドは入力のサチュレーションを表示します。#set_saturation コマンドを使用して、出力の解像度を設定できます。

構文.....#show_saturation param 1
パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]

構文例.....#show_saturation 1
INPUT 1 SATURATION VALUE : 65

● #show_telnet_port

#show_telnet_port コマンドは現在の Telnet ポートを表示します。#set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定できます。

構文.....#show_telnet_port
パラメーターなし

構文例.....#show_telnet_port
TELNET PORT IS 23

● #show_udp_port

#show_udp_port コマンドは現在の UDP シリアルポートを表示します。
#set_udp_port コマンドを使用して、UDP リスニングポートを設定できます。
構文.....#show_udp_port
パラメーターなし
構文例.....#show_udp_port
UDP COMMUNICATION PORT IS: 1002

● #show_udp_remote_ip

#show_udp_remote_ip コマンドは現在のリモート UDP IP アドレスを表示します。
#set_udp_remote_ip コマンドを使用して、リモート UDP IP アドレスを設定できます。
構文.....#show_udp_remote_ip
パラメーターなし
構文例.....#show_udp_remote_ip
UDP REMOTE IP ADDRESS : 192.168.1.227

● #show_udp_remote_port

#show_udp_remote_port コマンドは現在のリモート UDP ポートを表示します。
#set_udp_remote_port コマンドを使用して、リモート UDP ポートを設定します。
構文.....#show_udp_remote_port
パラメーターなし
構文例.....#show_udp_remote_port
REMOTE UDP COMMUNICATION PORT IS: 508

● #show_ver_data

#show_ver_data コマンドは現在のソフトウェアとハードウェアバージョンを表示します。
構文.....#show_ver_data
パラメーターなし
構文例.....#show_ver_data
VERSION : SW[V2.1 1] / HW[V2.1]

● #unmask

#unmask コマンドは特定の出力のマスキングを解除します。
#mask コマンドを使用して、特定の出力のマスキングを有効にできます。
param1 = 0 の場合、全出力のマスキングは解除されます。
構文.....#unmask param1
パラメーターparam1 出力 [0 ... 4]
構文例.....#unmask 2
出力 2 のマスキングは解除されています。

● #use_tcp_access

#use_tcp_access コマンドは Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。
構文.....#use_tcp_access param1
パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	TELNET へのアクセスを無効にする。
1	TELNET へのアクセスを有効にする。

構文例.....#use_tcp_access 1
Telnet へのアクセスは有効です。

● #use_telnet_pass

Telnet セッションにパスワード認証を強要します。デフォルト設定は無効です。
#set_telnet_pass コマンドを使用して、Telnet パスワードを設定できます。
構文.....#use_telnet_pass param1
パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	パスワードを無効にする。
1	パスワードを有効にする。

構文例.....#use_telnet_pass 1
TELNET セッションのパスワードを有効にします。

● #use_udp_access

#use_udp_access コマンドは UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。
構文.....#use_udp_access param1
パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	UDP へのアクセスを無効にする。
1	UDP へのアクセスを有効にする。

構文例.....#use_udp_access 1
UDP へのアクセスを有効にします。

● m

m コマンドは現在の本機の入出力切替ステータスを表示します。マスキングやロックのステータスも表示されます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。
構文.....m
パラメーターなし
構文例.....m

```
Show the matrix status in tabular form
Routing status table
Outputs | +0 | +1 | +2 | +3
1 | 1 | 2 | 3 | 4
Masking status table
Outputs | +0 | +1 | +2 | +3
1 | A | A | A | A
Monitor HPD status table
Outputs | +0 | +1 | +2 | +3
1 | L | L | L | L
RMT_IR - SW1=0,SW2=0
```

● r

r コマンドは特定の入力特定の出力に切替えます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。s コマンドも参照してください。
param2 = 0 の場合、入力 (param1) は全ての出力に割り当てられます。
構文.....r param1 param2

パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]
param2 出力 [0, 1 ... 4]
構文例.....r 3 1
入力 3 を出力 1 ヘルレーティングします。
r 1 0
入力 1 を全ての出力ヘルレーティングします。

● s

s コマンドは特定の入力を全出力に割り当てられます。コマンドの前に記号「#」を入力する必要はありません。
構文.....s param1
パラメーターparam1 入力 [1 ... 4]
構文例.....s 2
全ての出力を入力 2 ヘルレーティングします。

■ウェブインターフェース

●内蔵ウェブインターフェースの使用

本体の IP アドレスを入力して、内蔵ウェブインターフェース にアクセス します。詳しくは 24 ページ「●IP/UDP の構成」の手順③を参照して ください。本体に接続すると、ログイン画面が表示されます。

▼ User Name

ド롭ダウンリストからユーザー名を選択します。

オプション Operator、Administrator

Administrator(アドミニストレーター) ログインは全ての機能や設定へ の無制限でアクセスできます。Operator(オペレーター) ログインの場合、 アクセス可能なのはルーティング、ディスプレイ情報やルーティングプリ セット機能のみとなります。

▼ Password

ユーザーのパスワードを入力します。#set_webui_op_pass と #set_ webui_ad_pass コマンドを使用して、パスワードを設定します。入力 の際、パスワードはマスクされます。初期設定は「Admin」です。

ウェブインターフェース のメインページは、Main、I/O Setup、 Manage EDID、Configuration の 4 種類で構成しており、画面上部の タブで選択できます。Main、I/O Setup と Manage EDID ページには、 それぞれ固有のサブタブが含まれています。



4 種類全てのページにアクセスするには、Administrator(ア ドミニストレーター)としてログインする必要があります。 Operator(オペレーター)でログインした場合、アクセス可能 なのは「Routing」タブのみです。

● Main ⇒ Routing

▼ Power

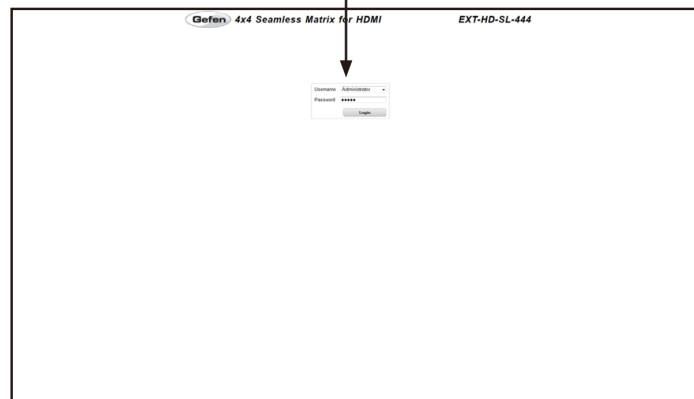
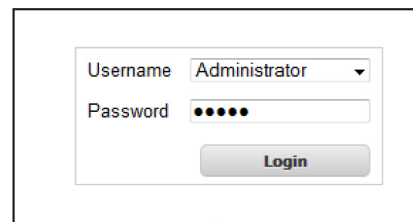
本体の電源をオン / オフします。本体の電源がオンの時は **STANDBY** と 表示されます。

▼ ?Help

状況に応じたヘルプ情報が表示されます。このボタンはすべてのページに あります。

▼ Log Out

現在のウェブセッションを終了し、ログイン画面に戻ります。



▼ Name(Outputs)

出力名を表示します。#set_output_name コマンドを使用するか、ウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから出力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ Output(Outputs)

操作する出力を選択します。

▼ Input #(Inputs)

操作する入力を選択します。

▼ Name(Inputs)

入力名を表示します。#set_input_name コマンドを使用するか、ウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから入力名を変更することができます。

▼ Output(Status)

ルーティング可能な出力です。

▼ Input #(Status)

出力へルーティングしている入力です。

▼ Select All Outputs

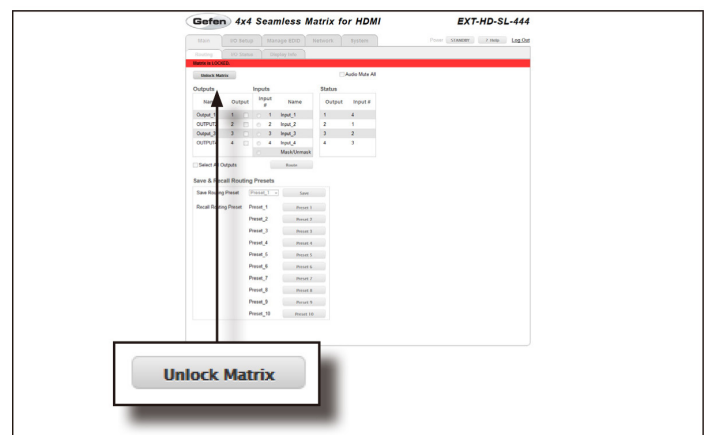
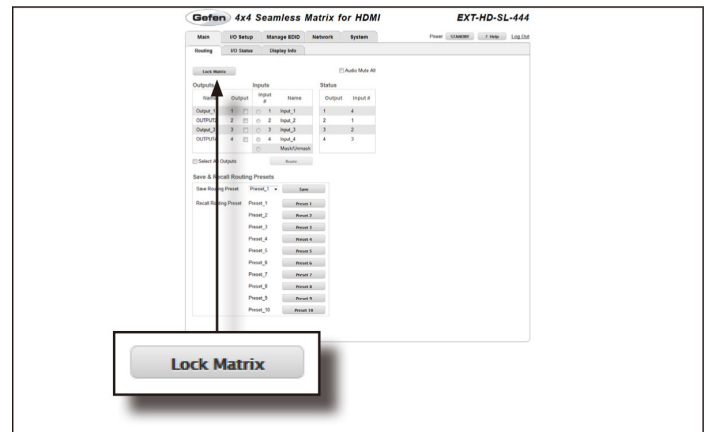
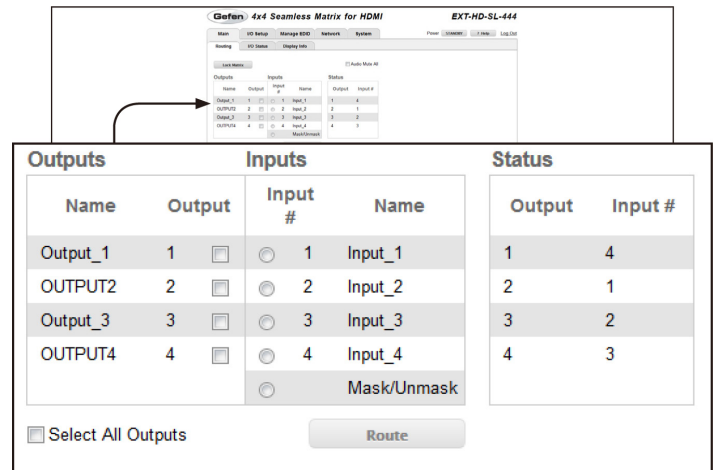
全出力のチェックボックスをチェックします。

▼ Route

このボタンを押すと選択された入力を選択された出力にルートします。

▼ Lock Matrix

本体のロックまたはロック解除をします。本体が既にロックされている場合、前面パネルまたはウェブ GUI 経由で設定を変更することはできません。本体のロック中、ボタンのテキストは「Unlock Matrix」と表示され、画面上部の赤いバーにテキスト「Matrix is LOCKED」が表示されます。「Unlock Matrix」ボタンをクリックすると、本体ロックは解除されます。

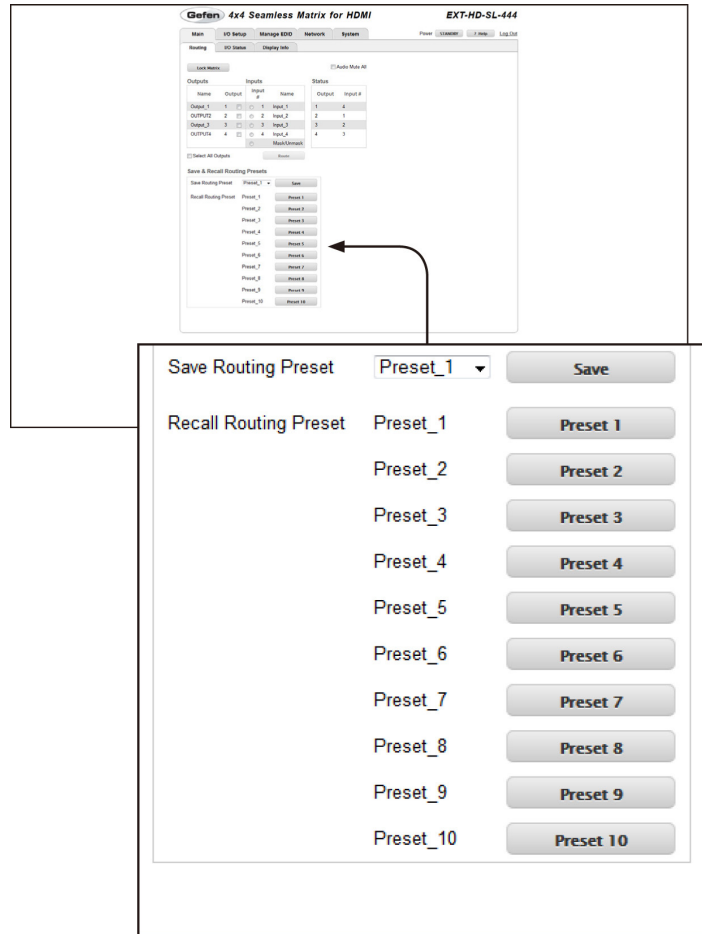


▼ Save Routing Preset

現在のルーティングステータスをメモリに保存します。ドロップダウンリストからプリセットを選択します。「Save」ボタンを押して、プリセットをメモリに保存します。

▼ Recall Routing Preset

プリセットボタンを押して、メモリからルーティングステータスを呼び出します。



● Main ⇒ I/O Status

▼ Name

出力名を表示します。#set_output_name コマンドを使用するか、もしくはウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから出力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ RSENSE

現在の Rsense ステータスを表示します。

▼ Mask

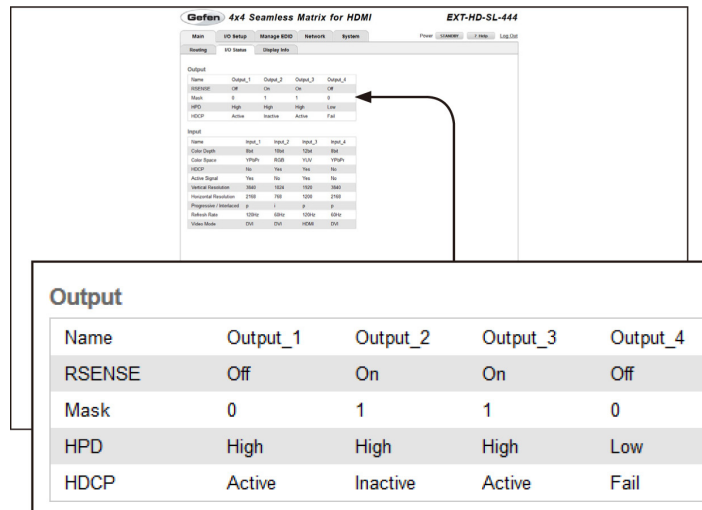
出力のマスキングステータスを表示します。

▼ HPD

各出力のホットプラグディテクト (HPD) ステータスを表示します。

▼ HDCP

出力の HDCP ステータス (有効 / 無効) を表示します。



▼ Name

入力名を表示します。#set_input_name コマンドを使用するか、もしくはウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから入力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ Color Depth

ソース信号の Color depth を表示します。

▼ Color Space

ソース信号の Color Space を表示します。

▼ HDCP

ソース信号の HDCP ステータスを表示します。

▼ Active Signal

入力にソースが接続されているかどうかを表示します。

▼ Vertical Resolution

ソース信号の垂直解像度を表示します。

▼ Horizontal Resolution

ソース信号の水平解像度を表示します。

▼ Progressiv/Interlaced

入力信号のフィールドオーダーを表示します。

▼ Refresh Rate

入力信号のリフレッシュレートを表示します。

▼ Video Mode

入力のビデオモード (HDMI / DVI) を表示します。

● Main ⇒ Display Info

▼ Info Display

チェックボックスをチェックして、出力の情報を表示します。

▼ Choose EDID

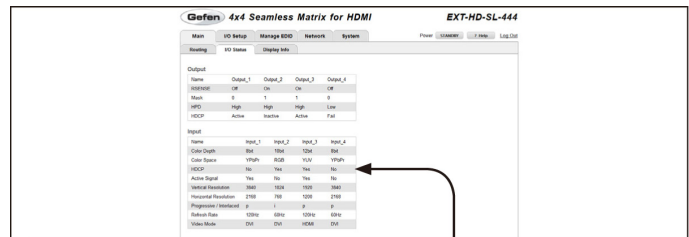
ドロップダウンリストから EDID を選択します。出力または EDID バンクから EDID をコピーして入力に割り当てます。

オプションBank1 ~ Bank8

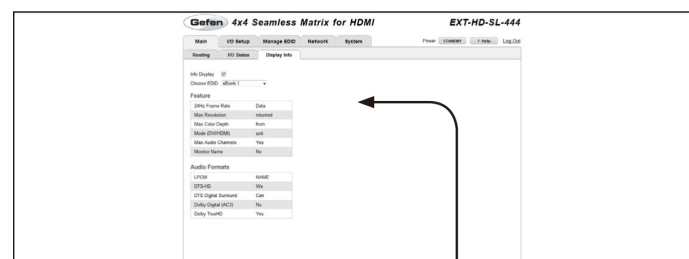
1 - Output_1 ~ 4 - Output_4

▼ Feature /Audio Formats

EDID に基づいて、表示機器に関する情報を表示します。



Input				
Name	Input_1	Input_2	Input_3	Input_4
Color Depth	8bit	10bit	12bit	8bit
Color Space	YPbPr	RGB	YUV	YPbPr
HDCP	No	Yes	Yes	No
Active Signal	Yes	No	Yes	No
Vertical Resolution	3840	1024	1920	3840
Horizontal Resolution	2168	768	1200	2168
Progressive / Interlaced	p	i	p	p
Refresh Rate	120Hz	60Hz	120Hz	60Hz
Video Mode	DVI	DVI	HDMI	DVI



Info Display	
Info Display	<input checked="" type="checkbox"/>
Choose EDID	xBank 1
Feature	
24Hz Frame Rate	Data
Max Resolution	returned
Max Color Depth	from
Mode (DVI/HDMI)	unit
Max Audio Channels	Yes
Monitor Name	No

● I/O Setup ⇒ Preset Names

▼ Preset

プリセット番号を表示します。

▼ Name

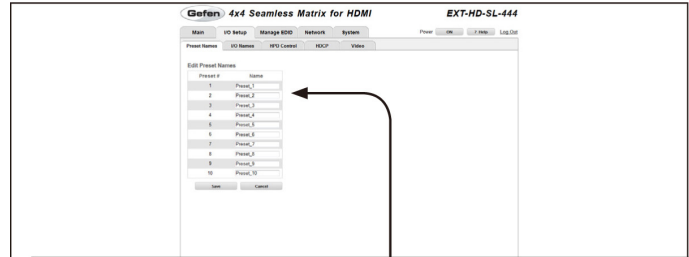
プリセットに名前を入力します。

▼ Save

入力されたプリセット名を保存します。

▼ Cancel

プリセット名またはプリセットを1つ前に戻します(変更を加えた場合)。



Edit Preset Names

Preset #	Name
1	<input type="text" value="Preset_1"/>
2	<input type="text" value="Preset_2"/>
3	<input type="text" value="Preset_3"/>
4	<input type="text" value="Preset_4"/>
5	<input type="text" value="Preset_5"/>
6	<input type="text" value="Preset_6"/>
7	<input type="text" value="Preset_7"/>
8	<input type="text" value="Preset_8"/>
9	<input type="text" value="Preset_9"/>
10	<input type="text" value="Preset_10"/>

● I/O Setup ⇒ I/O Names

▼ Output

出力 ID を表示します。

▼ Name (Output)

各出力の名前を入力します。

▼ Input

各入力番号を表示します。

▼ Name (Input #)

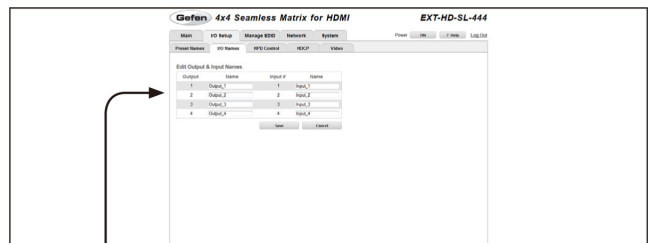
入力の名前を入力します。

▼ Save

入出力名に加えた変更を保存します。

▼ Cancel

入出力名または入出力を 1 つ前に戻します(変更を加えた場合)。



Edit Output & Input Names

Output	Name	Input #	Name
1	<input type="text" value="Output_1"/>	1	<input type="text" value="Input_1"/>
2	<input type="text" value="Output_2"/>	2	<input type="text" value="Input_2"/>
3	<input type="text" value="Output_3"/>	3	<input type="text" value="Input_3"/>
4	<input type="text" value="Output_4"/>	4	<input type="text" value="Input_4"/>

● I/O Setup ⇒ HPD Control

▼ Input

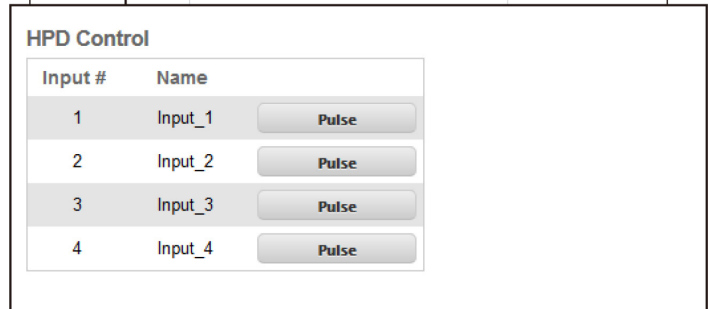
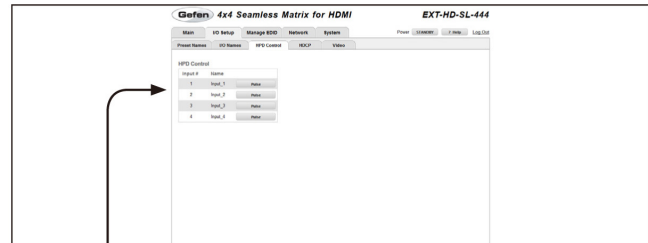
入力番号を表示します。

▼ Name

入力名を表示します。#set_input_name コマンドを使用するか、もしくはウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから入力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ Pulse

「Pulse」ボタンをクリックすると出力のHPDラインを再認識します。この機能はソース機器とマトリクス間のケーブルを取り外して、再接続することと同じ動作を実行します。



● I/O Setup ⇒ HDCP



HDCPに準拠する表示機器を認識するとHDCPを有効にするソース機器(コンピュータ)があります。「Disable」チェックボックスをチェックすると、コンピュータはHDCP準拠の表示機器の認識を強制的に無視します。「Disable」機能はHDCPコンテンツの暗号化を解読しません。

▼ Disable

未チェック項目をチェックし、HDCPの認識を強制的に無視します。

▼ Input

入力番号を表示します。

▼ Name

入力名を表示します。#set_input_name コマンドを使用するか、もしくはウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから入力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ Accept/Not Accept

「Accept」ボタンをクリックすると、HDCPコンテンツは入力にパススルーされます。「Not Accept」ボタンをクリックすると、HDCPコンテンツは入力にパススルーされません。

▼ Always On/Follow Input

「Always On」ラジオボタンをクリックすると、HDCPは入力にパススルーされます。「Follow Input」ボタンをクリックすると、出力の設定は入力の設定に合わせてます。

▼ Select All

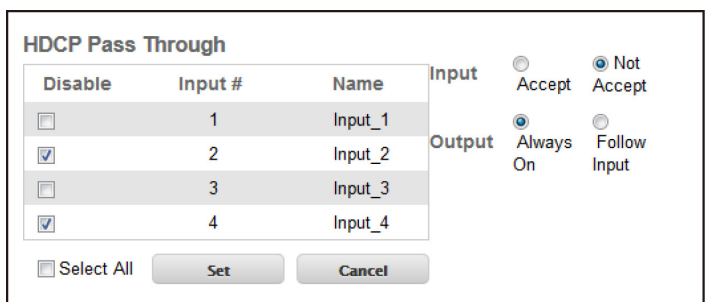
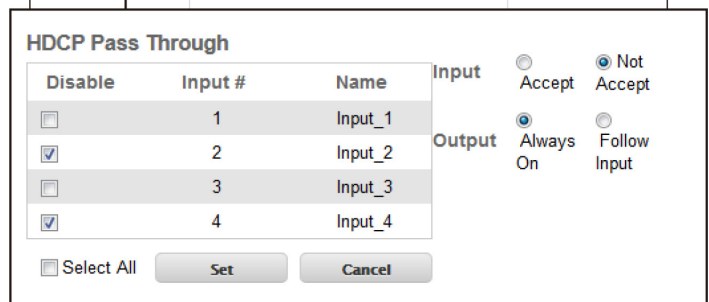
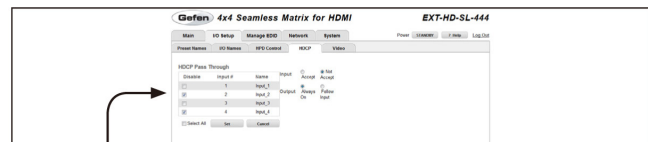
全ての項目にチェックを入れます。もしくはチェック済みの項目のチェックを全て解除します。

▼ Set

ボタンをクリックして、全入力に行われた変更内容を保存します。

▼ Cancel

現在の操作を取り消し、各入力の変更内容を無効にします。



● I/O Setup ⇒ Video

▼ Output Resolution

ドロップダウンリストから出力の解像度を選択します。

オプション：

480p	1280 x 800
576p	1280 x 1024
720p @ 50 Hz	1366 x 768
720p @ 60 Hz	1440 x 900
1080p @ 24 Hz	1600 x 900
1080p @ 50 Hz	1600 x 1200
1080p @ 60 Hz	1680 x 1050
1024 x 768	1920 x 1200
—	ネイティブ

▼ Select Output to adjust

ドロップダウンリストをクリックして、出力を選択します。

▼ Brightness

フィールドに輝度値を入力します。

▼ Contrast

フィールドにコントラスト値を入力します。

▼ Saturation

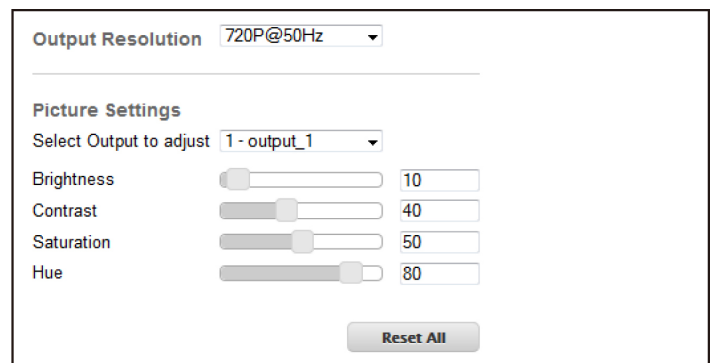
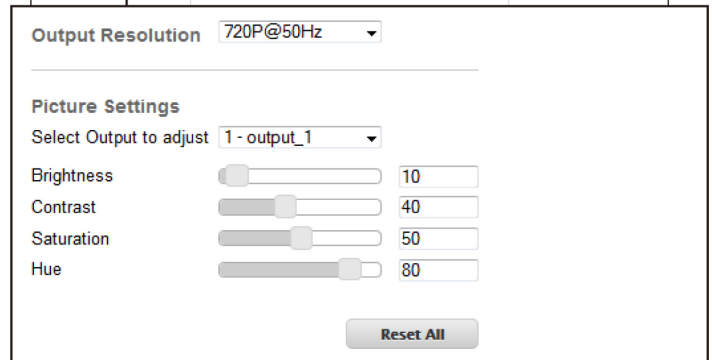
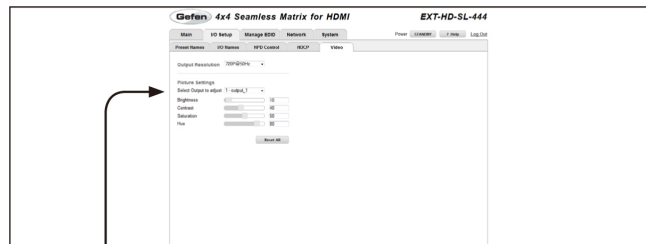
フィールドにサチュレーション値を入力します。

▼ Hue

フィールドに色合い値を入力します。

▼ Reset All

工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



● Manage EDID ⇒ Assign

▼ Lock EDID

本体の電源を入れた後の自動 EDID 読み込みを無効にして、Local EDID を保持します。

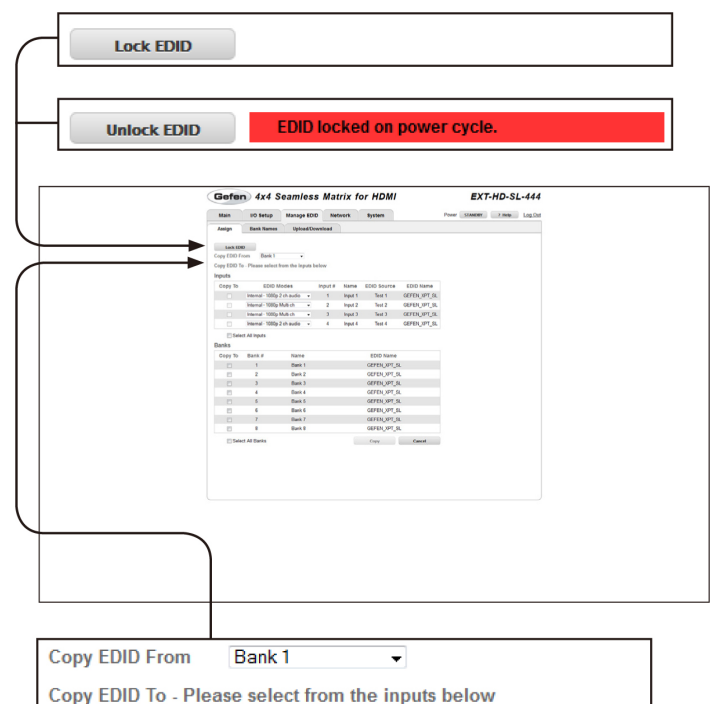
「Lock EDID」ボタンが有効の場合、赤いメッセージバーに「EDID locked on power cycle」が表示されます。本体を再起動すると、ローカル EDID 情報に固定（ロック）されます。「Unlock EDID」ボタンをクリックして、Lock EDID 機能を解除します。

▼ Copy EDID From

ドロップダウンリストから EDID を選択します。EDID は出力からコピーされます。もしくは EDID バンクから選択します。

オプションBank 1 ~ Bank 8

Output 1 ~ Output 4



▼ Copy To

チェックボックスをチェックして、入力を選択 / 解除します。

▼ EDID Modes

ドロップダウンリストから EDID モードを選択します。

オプションInternal - 1080p 2 ch Audio

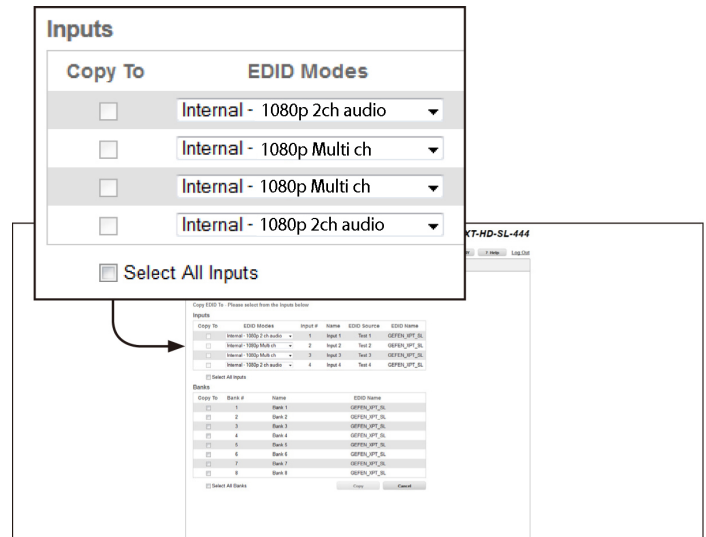
Internal - 1080p Multi ch

External - Output

Custom - User

▼ Select All Inputs

チェックボックスをチェックすると、全入力を選択されます。チェックボックスをクリアすると、全入力選択を解除します。



▼ Input

入力番号を表します。#set_input_name コマンドを使用するか、もしくはウェブインターフェースの「I/O Setup ⇒ I/O Names」ページから入力名を変更することができます (p36 参照)。

▼ Name

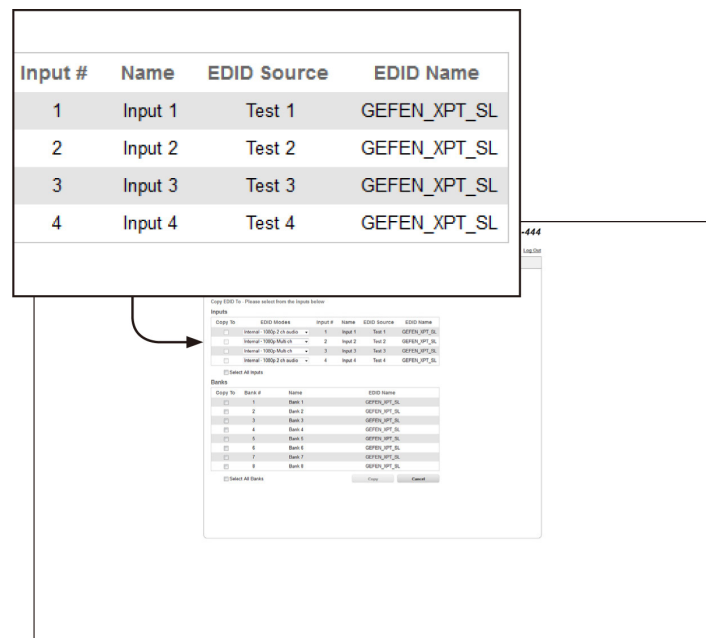
入力名を表します。

▼ EDID Source

現在使用されているの EDID ソース機器を表します。

▼ EDID Name

EDID 名を表します。



▼ Copy To

チェックボックスをチェックして、EDID のコピー先を選択します。チェックボックスをクリアすると、バンクの選択は解除されます。

▼ Bank

バンク番号を表します。 .

▼ Name

バンク名を表します。

▼ Select All Banks

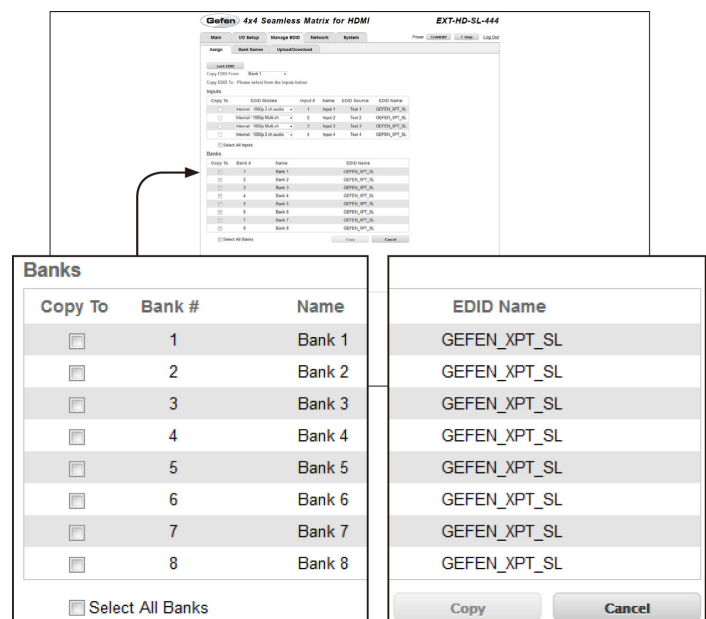
チェックボックスをチェックすると、全バンクが選択されます。チェックボックスをクリアすると、全バンク選択は解除されます。

▼ Copy

ボタンを押して、コピー作業を実行します。

▼ Cancel

全てのチェックボックスのチェックを解除します。



● Manage EDID ⇒ Bank Name

▼ Bank

EDID バンク番号を表します。

▼ Name

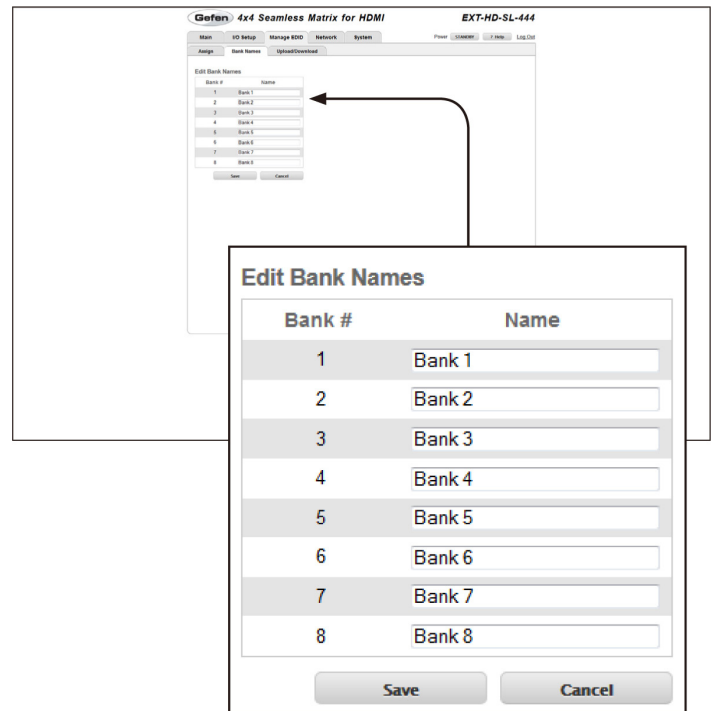
フィールドに EDID バンク名を入力します。

▼ Save

現在の EDID バンク名を保存します。

▼ Cancel

直前のバンク名を元に戻します (バンク名の変更を行った場合)。



● Manage EDID ⇒ Upload/Download

▼ Browse...

ボタンをクリックして、アップロードする EDID ファイルを選択します。

▼ Select Bank Location

ドロップダウンリストをクリックして、EDID がアップロードされるバンクを選択します。

オプション Bank1 ~ Bank8

▼ Upload

ボタンをクリックして、EDID を指定されたバンクにアップロードします。

▼ Select EDID File to Download

ファイルとして保存される EDID を選択します。なお、EDID ファイルはバイナリーファイル (.bin) として保存されます。

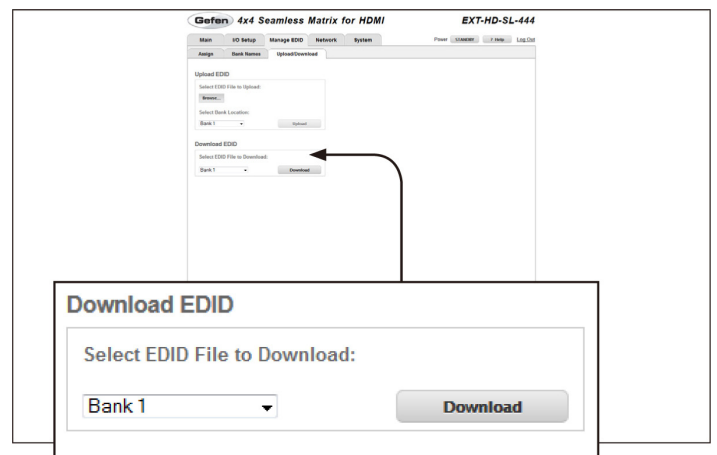
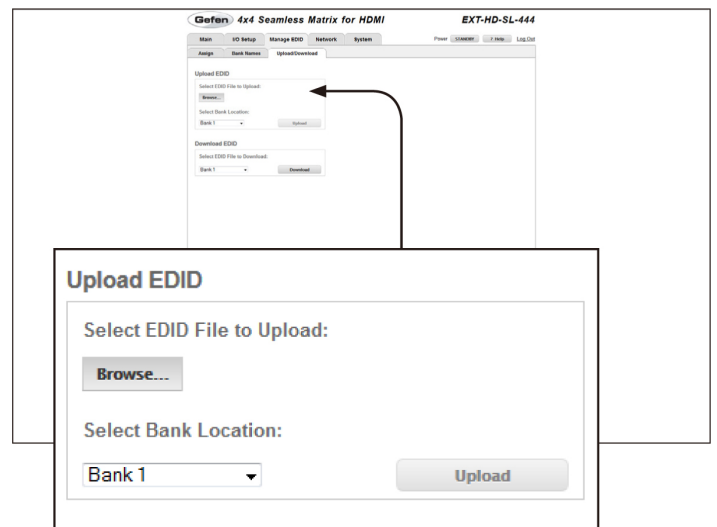
オプション Bank1 ~ Bank8

1-Output_1 ~ 4-Output_4

1-Input_1 ~ 4-Input_4

▼ Download

ボタンをクリックして、選択された EDID をファイルにダウンロードします



●ネットワーク

▼ MAC Address

マトリクスのMACアドレスを表します。なお、MACアドレスは変更できません。

▼ Mode

ネットワークモードを設定します。

オプションStatic、DHCP

▼ IP Address

フィールドにマトリクスのIPアドレスを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「static」に設定された場合のみ有効です。

▼ Subnet

フィールドにマトリクスのサブネットマスクを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「static」に設定された場合のみ有効です。

▼ Gateway

フィールドにマトリクスのゲートウェイ（ルーター）アドレスを入力します。なお、このオプションは、ネットワークモードが「static」に設定された場合のみ有効です。

▼ HTTP Port

フィールドにHTTPリスニングポートを入力します。

▼ Enable TCP Access

チェックボックスをチェックすると、TCPにアクセス可能になります。チェックボックスをクリアすると、TCPへのアクセスは無効になります。

▼ Require Password on Connect

チェックボックスをチェックすると、Telnetセッションの開始時にパスワードを要求するように設定します。チェックボックスをクリアすると、パスワードの要求は解除されます。

▼ User Name

フィールドにログイン用のユーザー名を入力します。

▼ Old Password

フィールドに現在のパスワードを入力します。

▼ New Password

フィールドに新しいパスワードを入力します。

▼ Enable UDP Access

チェックボックスをチェックすると、UDPにアクセス可能になります。チェックボックスをクリアすると、UDPへのアクセスは無効になります。

▼ UDP Port

フィールドにUDPリスニングポートを入力します。

▼ Enable UDP Echo

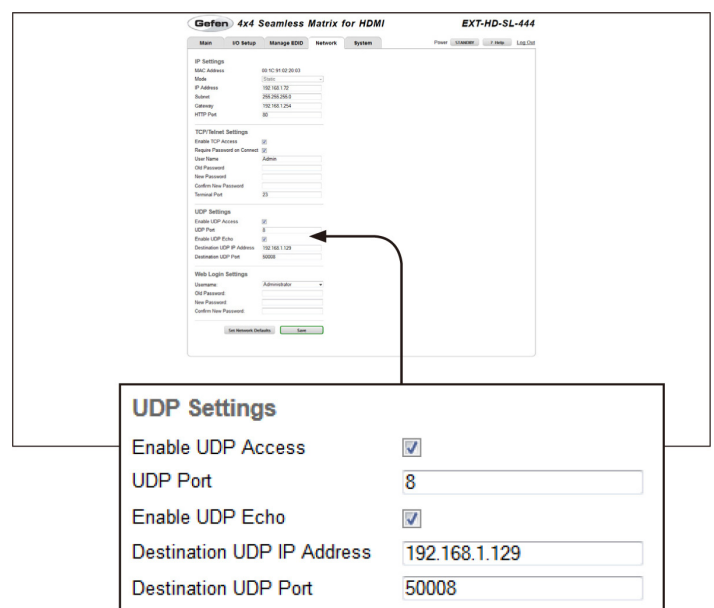
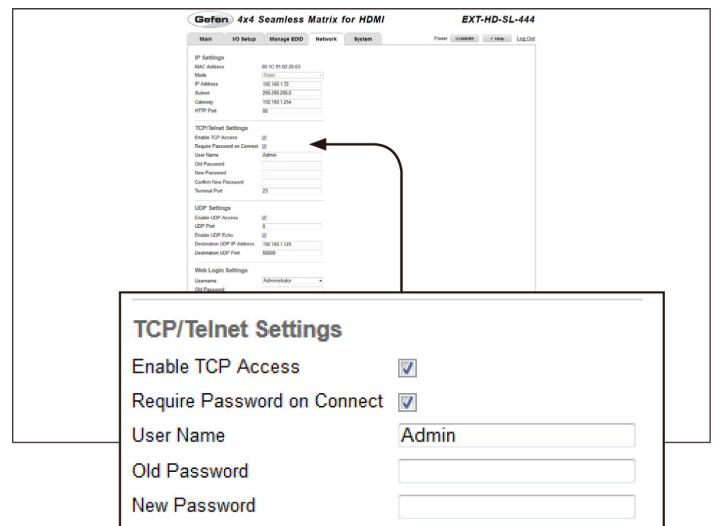
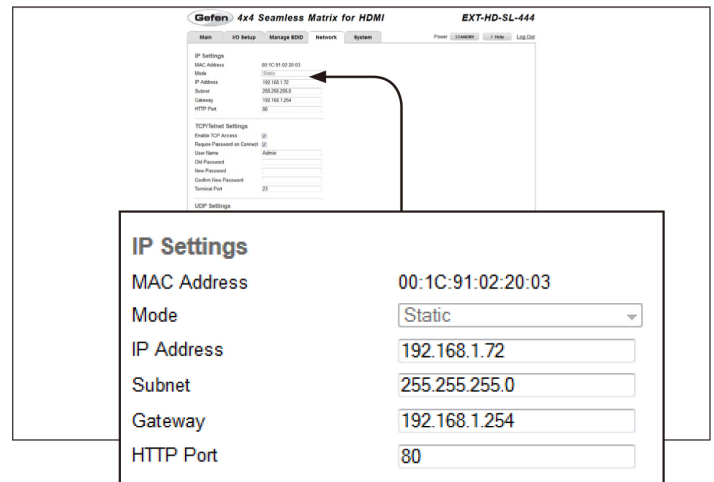
チェックボックスをチェックすると、UDP エコー機能は有効にします。

▼ Destination UDP IP Address

フィールドにリモートUDP IPアドレスを入力します。

▼ Destination UDP Port

フィールドにリモートUDPリスニングポートを入力します。



▼ User Name

ドロップダウンリストをクリックして、ユーザー名を選択します。なお、選択されたユーザーのパスワードは変更可能です。

▼ Old Password

フィールドに現在のパスワードを入力します。

▼ New Password

フィールドに新しいパスワードを入力します。

▼ Confirm Password

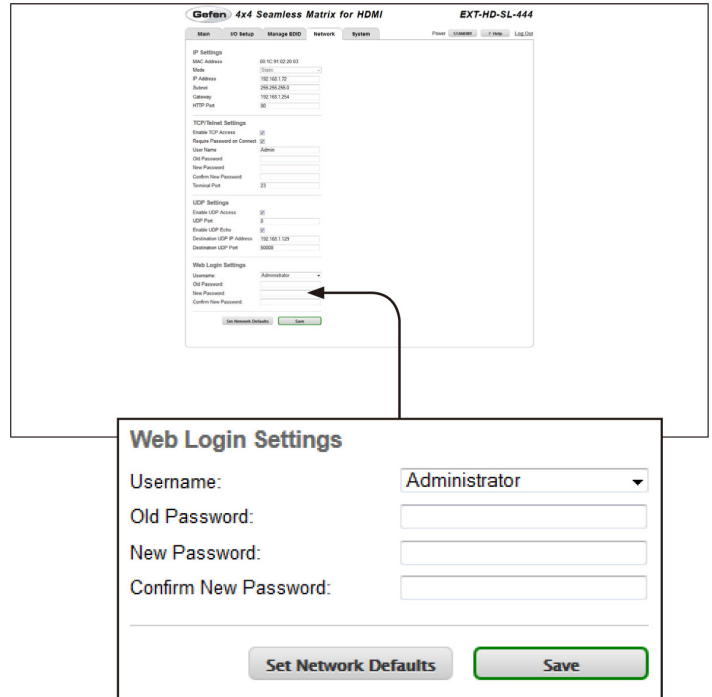
フィールドに新しいパスワードを再入力します。

▼ Set Network Defaults

ネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

▼ Save

このページで行われた変更を保存します。



● システム

▼ Download

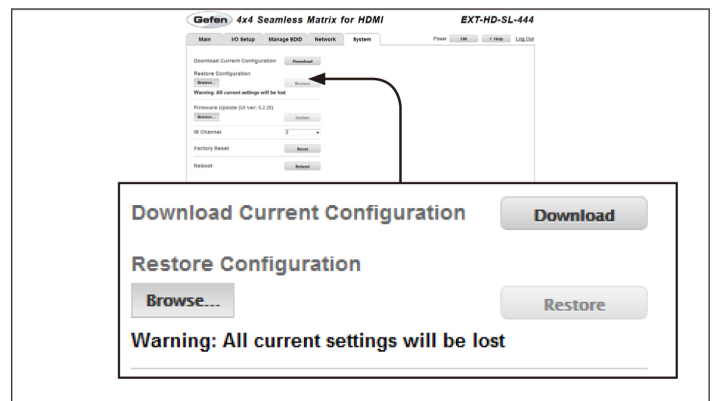
現在の本体設定をファイルでダウンロードします。

▼ Browse...

アップロードする構成ファイルを選択します。

▼ Restore

選択した構成ファイルを本体へアップロードします。



▼ Browse...

ボタンをクリックして、アップロードするファームウェアファイルを選択します。ファームウェアのアップグレードについて、詳しくは 43 ページ「[ファームウェアのアップグレード](#)」を参照してください。

▼ Update

ファームウェアファイルを選択した後、ボタンをクリックすると、アップデート作業が開始します。

▼ IR Channel

ドロップダウンリストから、本体に設定する IR チャンネルを選択します。本体と付属の IR リモコンは同じ設定にしてください。

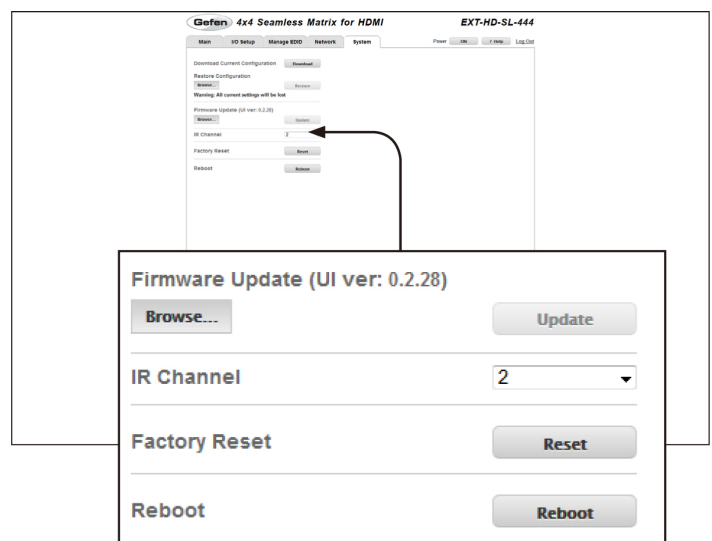
オプション 0 ~ 3

▼ Reset

本体を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。なお、TCP/IP 設定はストアされます。

▼ Reboot

本体を再起動します。



◆付録

■ファームウェアのアップグレード

●ウェブインターフェースによるアップグレード方法



重要：ファームウェアアップグレード中は本体の電源をオフにしたり電源コードを抜かないでください。

- ① Gefen ウェブサイトからファームウェアをダウンロードします。
- ② ZIP ファイルを解凍し、ファームウェアファイルを取り出します。
- ③ 本体の電源を入れます。
- ④ イーサネットケーブルを使用して、本体とウェブインターフェースを起動するコンピュータを接続します。
※アップグレード作業中はケーブルや延長器を取り外す必要はありません。
- ⑤ ウェブインターフェースの「Configuration」タブをクリックして、「System Configuration」セッションの下部にある「Browse...」ボタンをクリックします。
- ⑥ ファームウェアファイルを選択して、「Update」ボタンをクリックします。
- ⑦ 現在のファームウェアは上書きされる確認メッセージが表示されます。ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップロードを開始します。
- ⑧ ファームウェアアップグレード作業を開始します。作業は数分間がかかります。RS-232 インターフェースを使用して、アップグレード作業の進捗を確認できます。
- ⑨ ファームウェアがアップグレードされると、本体は自動的に再起動します。
- ⑩ ファームウェアアップグレード作業は完了します。

●USB インターフェースによるアップグレード方法。



重要：ファームウェアアップグレード中は本体の電源をオフにしたり電源コードを抜かないでください。

- ① Gefen ウェブサイトからファームウェアをダウンロードします。
- ② 本体の電源を入れます。
- ③ USB ケーブルを使用して、本体とコンピュータを接続します。
※アップグレード作業中はケーブルや延長器を取り外す必要はありません。
- ④ 本体をコンピュータに接続すると、マイコンピュータにリムーバブルディスクアイコンが表示されます。
- ⑤ ZIP ファイルを解凍し、ファームウェアファイル (bin) をリムーバブルディスクにコピーします。
- ⑥ コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- ⑦ ファームウェアがアップグレードされると、本体は自動的に再起動します。
- ⑧ ファームウェアアップグレード作業は完了します。

■仕様

最大対応解像度	1080p フルHD、1920 x 1200(WUXGA)
最大ピクセルクロック	225 MHz
ビデオ入力端子	HDMI Type A(19ピン、メス、MonoLOK) × 4
ビデオ出力端子	HDMI Type A(19ピン、メス、MonoLOK) × 4
RS-232 端子	D-Sub9 ピン(メス) × 1
IP 端子	3.5mm ステレオミニ × 1
USB 端子	Mini-B × 1
電源	DC12V、最大 24W
寸法・質量	W430 × H42 × D200mm、2.3kg



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>